

積算システム「頂」操作マニュアル

～水道工事編～

株式会社エージェンシーソフト
マニュアルver.1-1

目次

1.頂を起動する	5
2.スタート画面	5
2-1 各機能の説明	6
2-2 プログラム・データ更新	7
新規設計書の作成	8
1. 積算条件の設定	8
2.表紙の入力	11
3.直接工事費の作成	13
4.内訳の作成	14
4-1 内訳名称を作成して登録する	15
5.階層の作成	17
6.単価検索からの単価の転送	19
6-1施工単価の場合	20
6-2材料単価の場合	21
6-3.管材費の設定	22
6-4 施工パッケージ	23
6-5 施工パッケージの材料を変更する方法	26
7.新規代価(単価)の作成	28
8.行の削除	33
9.共通仮設費積上額の入力	34
10.諸経費の計算	37
10-1 水道工事	38
10-1-1 管材費の設定	39

12.頂を終了(保存)する	43
12-1 頂を保存する	43
12-2 頂を終了する	44
印刷関係	45
1.印刷フォーマットの各設定の説明	46
2.印刷対象の設定	47
3.表紙の各設定についての説明	48
4.単価表の設定	49
4-1 出典を印刷	49
4-2 備考欄を印刷	49
4-3 帳票番号の印刷設定	50
4-4 変更後のみを印刷する	50
5.その他	51
5-1 経費の対象額と率の印刷設定.....	51
5-2 各種集計対象の集計値の印刷設定.....	51
6.印刷設定の保存・PDF・Excel 出力・出力したファイルの保存	52
その他	53
1.前年度単価で作成した設計書を新年度単価、または別地区に更新する	53
2.夜間・冬期・通勤・週休補正.....	55
2-1 冬期補正(現場管理費の補正)の場合.....	58
3.Excel読込単価	61
4.ユーザ単価	62
4-1 ユーザ単価の作成	62
4-2 ユーザ単価の転送	67
5.変更設計について	69
5-1 変更設計書の作成	69
5-2 変更設計書の印刷	72

6.工事落札額	78
6-1 設計変更後の工事落札額を計算	79
6-2 設計変更後の工事落札額の印刷	79
7.合算	82
7-1 同時合算	83
7-2 追加合算	84
7-3 詳細設定.....	84
7-4 変更設計の合算	85
8.「物価資料」単価表示対象の設定	87
9.各ボタンの説明	88
9-1 設計書画面の機能	88
9-1-1 ツールバーの説明	89
9-1-2 コマンドバーの説明	91
9-2 単価検索画面の機能	92
9-2-1 クリップ機能	93
9-2-2 ツールバーの説明	94
9-2-3 コマンドバーの説明	96
9-3-4 表示バーの説明	98

1.頂を起動する

デスクトップにある頂のアイコンをダブルクリックすると、下のようなスタート画面が表示されます。この画面から作業内容を選択して該当するボタンをクリックすると、それぞれ次の画面に進むことができます。

2.スタート画面

積算ソフト - 頂2020

簡単な使い方、充実の機能、万全なサポート。

リポートサポート要求
お客様番号: A00005

使用する機能をクリックしてください

単価検索 ① 歩掛、単価、 ユーザ独自単価を検索する 単価検索	新規設計書 ② 新規設計書を作成 設計書	既存設計書 ③ 既存設計書を開く 設計書	(旧) 頂2013 データが 頂201
設計書の継続 ④ 前回の設計書を継続する 設計書	逆算・諸経費計算 ⑤ 積上せず、逆算や諸経費 のみを計算する 設計書	合算 ⑥ 複数工事の経費を合算する 設計書	(旧) 前回の 頂201
設計書変換 ⑦ PDF、CSV、Excelなどの設計書を 頂の形式に変換する 頂！サービス	プログラム・データ更新 ⑧ 頂・積算ソフト歩掛単価等 を更新する 頂！サービス	サポート ⑨ リポート操作を要請する 頂！サービス	プロ 頂・積 を更新 頂！サ

⑪

1 2

ホームページ ヘルプ シリアル番号管理 変更履歴 頂！サービス オプション設定

Version: 5.20.01.01

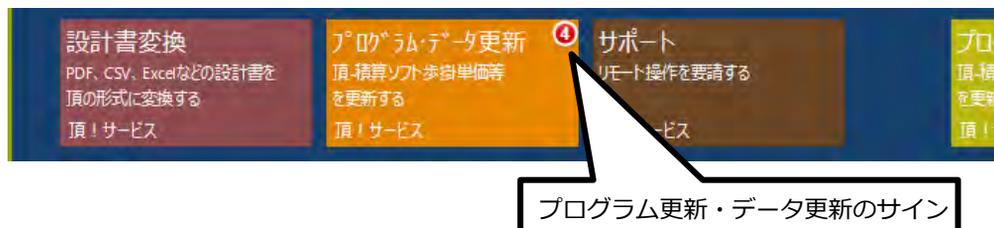
頂のバージョンが表示されています

2-1 各機能の説明

- ① **単価検索**：歩掛や単価の検索システム。単独で辞書のように使うと便利です。
- ② **新規設計書**：新規設計書を作成します。
- ③ **既存設計書**：過去に作成(保存)した設計書を開きます。
- ④ **設計書の継続**：前回作成(保存)した設計書を開き、継続して作業する場合に選択します。
- ⑤ **逆算・諸経費計算**：
《逆算》 工事価格が事前公表されている場合、工事価格から直接工事費や各種経費を逆算するときに使用します。
《諸経費計算》 積み上げた直接工事費を入力し間接費を自動計算させて工事価格を求める場合に使います。
※逆算・諸経費計算共に処分費や管材費（水道工事の場合）及び共通仮設費の積上げ額を入力し、各種補正を設定する必要があります。
- ⑥ **合算**：近接工事など複数の工事を合算する場合に使用します。
- ⑦ **設計書変換**：発注者の設計書データを頂に取り込めるファイルに変換できます。
※WEBサービスのため、インターネット接続が必要です。
- ⑧ **プログラム・データ更新**：7ページをご覧ください。
- ⑨ **サポート**：リモートサポートを要請する際に使用します。※インターネット接続必須
- ⑩ **新旧切り替え**：頂2014以前で作成した設計書を開く際は、2をクリックしてから操作を行ってください。
- ⑪ **その他メニュー**：
 - ・ ホームページ…弊社製品HPへリンクします。
 - ・ ヘルプ…マニュアル、参考資料、よくある質問など、積算をする際に重要になる情報が掲載されています。
 - ・ シリアル番号管理…認証システムが起動します。認証状況の確認などもできます。

2-2 プログラム・データ更新

新しいプログラムや単価・歩掛をインターネットで随時更新します。



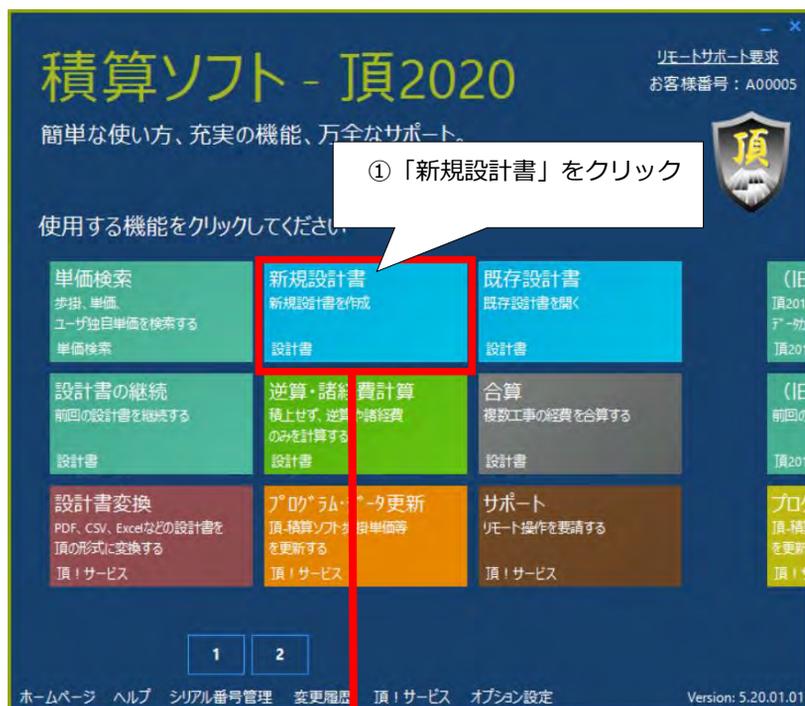
⑧**プログラム・データ更新**：ソフトのプログラムに更新がある場合と、県発表の資材単価などのデータに更新がある場合はこちらに赤丸で更新をお知らせします。サインが出ている場合はクリックして必ず更新をお願いします。更新にはインターネット環境が必要です。

※インターネットが接続されていない場合

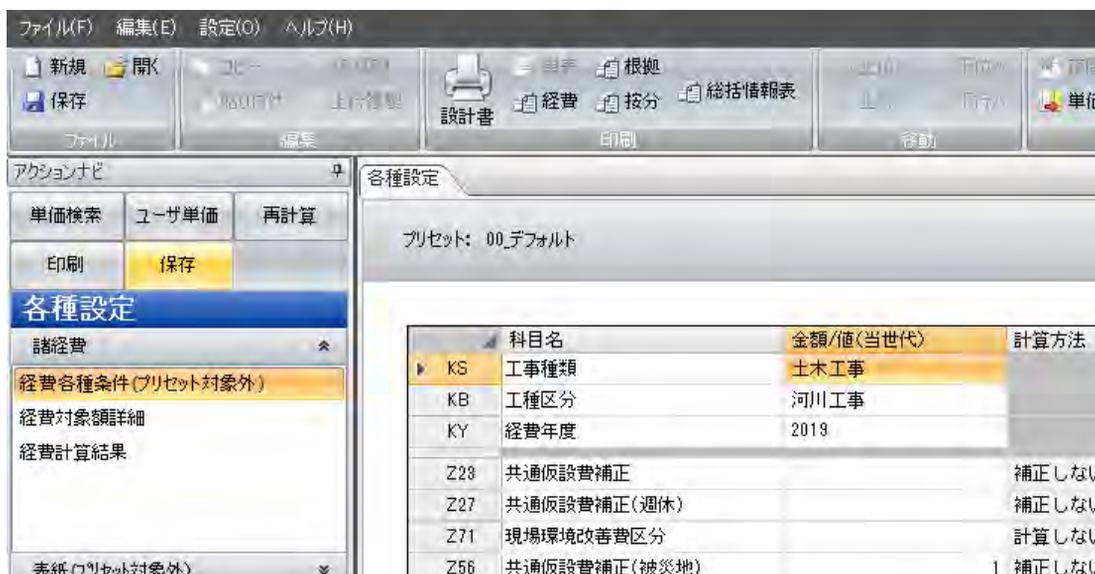
- ・メールによる配信：毎週月曜日にデータを配信します
- ・DVDによる更新：年3回までは無料で送付します
- ・LG-WANによる更新：LG-WANを利用し更新ができます。（オプションになります）

新規設計書の作成

1. 積算条件の設定



設計書の各種設定画面に移ります



②経費条件を設定します。

▼をクリックするとプルダウンメニューが開きますので、
水道工事（水道実務必携基準）を選択してください。

プリセット: 00_デ

科目名	金額/値(当世代)
KS 工事種類	土木工事
KB 工種区分	土木工事 土木工事(電気通信) 土木工事(管内一円)
KY 経費年度	土地改良工事 治山林道工事 公共建築工事 公共建築工事(富山県) 公共建築工事
Z23 共通仮設費補正	
Z27 共通仮設費補正(週休)	
Z141 共通仮設費補正(ICT)	水道工事(水道実務必携基準) 水道工事(下水道基準)
Z71 現場環境改善費区分	除染工事 港湾工事 民間工事
Z56 共通仮設費補正(被災地)	水道実務必携委託設計 水道施設維持管理業務委託 農業集落排水施設
Z57 現場管理費補正(被災地)	
Z58 現場管理費補正(工事場所)	
Z63 現場管理費補正(週休)	
Z59 現場管理費補正(緊急工事)	
Z60 現場管理費補正(冬期)	

科目名	金額/値(当世代)
KS 工事種類	水道工事(水道実務必携基準)
KB 工種区分	開削工事及び小口径推進工事
KY 経費年度	開削工事及び小口径推進工事 シールド工事及び推進工事 構造物工事(浄水場等)
Z23 共通仮設費補正	
Z27 共通仮設費補正(週休)	

工種区分を選択します。

③共通仮設費補正や一般管理費補正を入力します
 計算方法欄をクリックすると▼印が表示されます。
 ▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。
 該当する項目を選択してください

科目名	金額	計算方法
KS 工事種類	水道	
KB 工種区分	開削	
KY 経費年度	2018	
Z23 共通仮設費補正		補正しない
Z71 現場環境改善費区分		全地域-一般交通等の影響あり①
Z56 共通仮設費補正(被災地)	1	全地域-一般交通等の影響あり②
Z57 現場管理費補正(被災地)	1	市街地-一般交通等の影響なし
Z58 現場管理費補正(工事場所)		山間僻地及び離島
Z59 現場管理費補正(緊急工事)		補正しない
Z60 現場管理費補正(冬期)		固定値
Z61 一般管理費補正		補正しない
Z62 一般管理費補正		補正しない

間接費の率計上分の率を工事場所などに応じて補正します。
 補正には工事場所や冬期補正及び契約保証などがあり、正しく設定しないと工事価格が違ってきます。

設定の変更をすると、左上の「再計算」が赤くなりますので忘れずにクリックしてください。
 変更した経費条件で再計算されます。

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

④【再計算】をクリック

補足説明

画面が切り替わることで、【再計算】行います。

2.表紙の入力

表紙（プリセット対象外）をクリックすると、工事内容などの入力画面に移動します。

The screenshot shows a software application window with a menu bar (File, Edit, Settings, Help) and a toolbar. On the left, there is a sidebar with a '各種設定' (Various Settings) section. A red box highlights the '表紙(プリセット対象外)' (Cover (Not for preset)) option, with a callout '①表紙（プリセット対象外）をクリック' (Click the cover (not for preset)). Below it, the '工事内容' (Work Content) option is highlighted with a red box and a callout '②工事内容をクリック' (Click work content). The main area displays a form for '日-工事内容' (Daily Work Content) with fields for '工事番号' (Work No.), '工事名' (Work Name), '工事場所' (Work Location), '場所名称' (Location Name), '工期' (Duration), '起工予定日' (Start Date), '竣工予定日' (Completion Date), '発注者' (Orderer), '事業主体' (Project Owner), '施工年度' (Construction Year), and a list of '概要' (Summary) items. A red box highlights the '工事名' field, which contains '配水管布設管工事' (Water pipe laying work), and the '概要' list, which includes '施工延長=100m' (Construction length = 100m), '配水管ポリエチレン管布設工 (HDPE管 φ50) 1=100m' (Water pipe polyethylene pipe laying work (HDPE pipe φ50) 1=100m), and '給水管工 (3種2層管 φ20) N=8箇所' (Water supply pipe work (3 types 2-layer pipe φ20) N=8 locations). A callout '③工事名や概要など必要事項を任意に入力します' (Input necessary items such as work name or summary as needed) points to this area.

これらの内容は積算中いつでも変更することができます。



印刷例

工事設計書

					課長			課長補佐			主任・係長			審査者			検算			設計者	
--	--	--	--	--	----	--	--	------	--	--	-------	--	--	-----	--	--	----	--	--	-----	--

工事名称 **配水管布設替工事** ①

工事費総額	¥0
(内訳) 工事価格	¥0
消費税	¥0

発注者名
工 期
工事場所 **千代田区神田小川町地内** ②
場所名称

工事概要 当初設計 施工延長=100m 配水用ポリエチレン管布設工 (HPPE管 φ50) 1=100m ③ 給水管工 (3種2層管 φ20) N=5箇所	変更設計
--	------

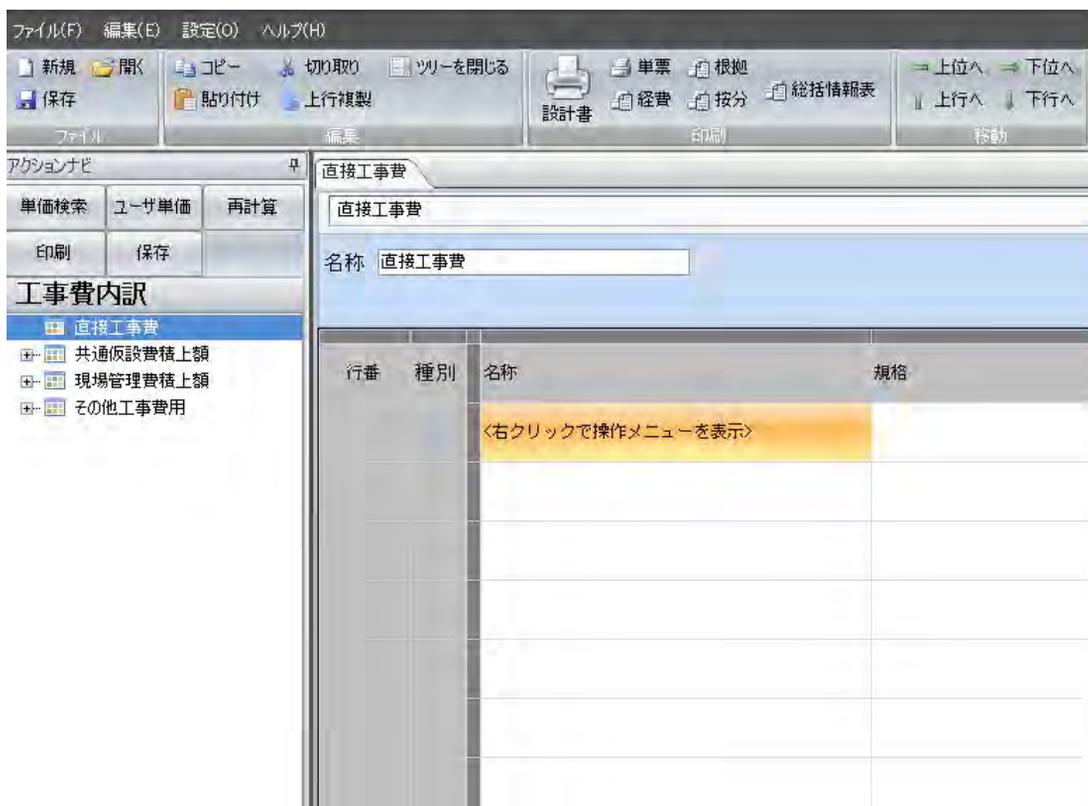
3.直接工事費の作成

積算条件の設定、表紙の入力が終わりましたら、次は直接工事費を作成します。

工事費内訳画面を開きます。



直接工事費画面が開きます。



4.内訳の作成

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。

①「内訳」をクリック

②「新規内訳」をクリック

土工や舗装工などのように、よく使用される名称は初期登録されています。

内訳が作成されました。

③名称を変更します。
名称をダブルクリックするか、
キーボードのF2ボタンで編集できます。

内訳の明細 (下位表)を作成します。

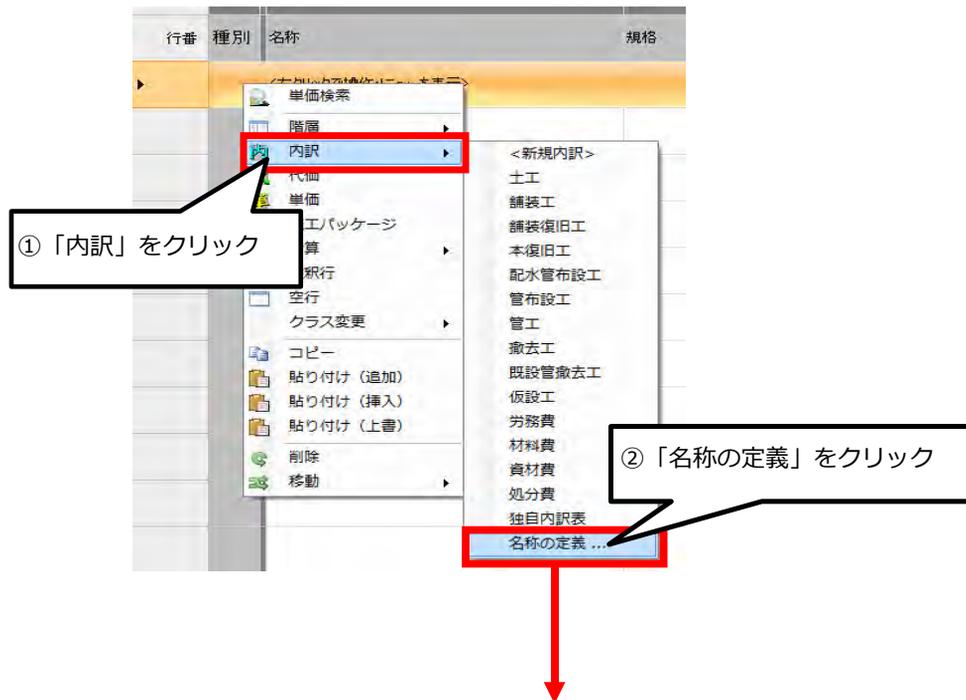
④内訳の明細 (下位表)を作成します。
行番号種別の「内」をダブルクリックで「下位表」へ移ります。
もしくは右クリックからメニューバーを開き「下位表を開く」をクリックでも同じように下位表へ移ります。

下位表へ移りました。内訳の内容を編集します。

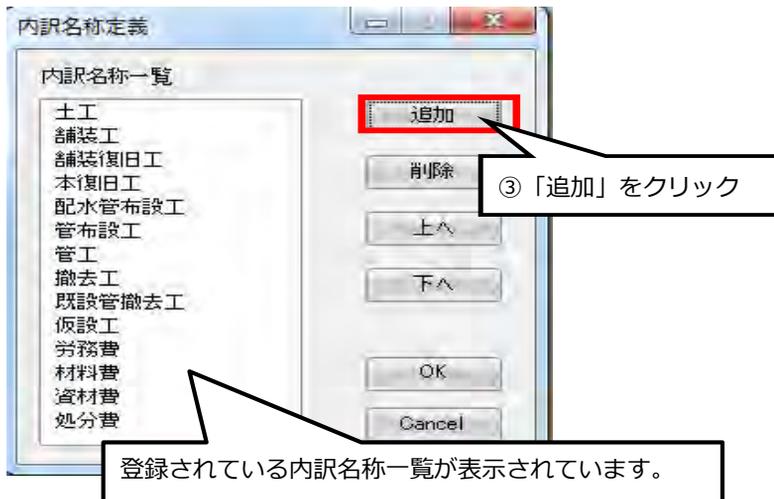
4-1 内訳名称を作成して登録する

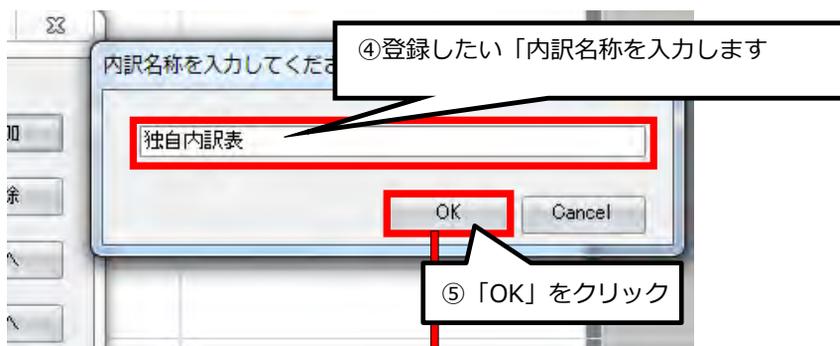
ユーザが自由に内訳の名称を登録することができます。

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。

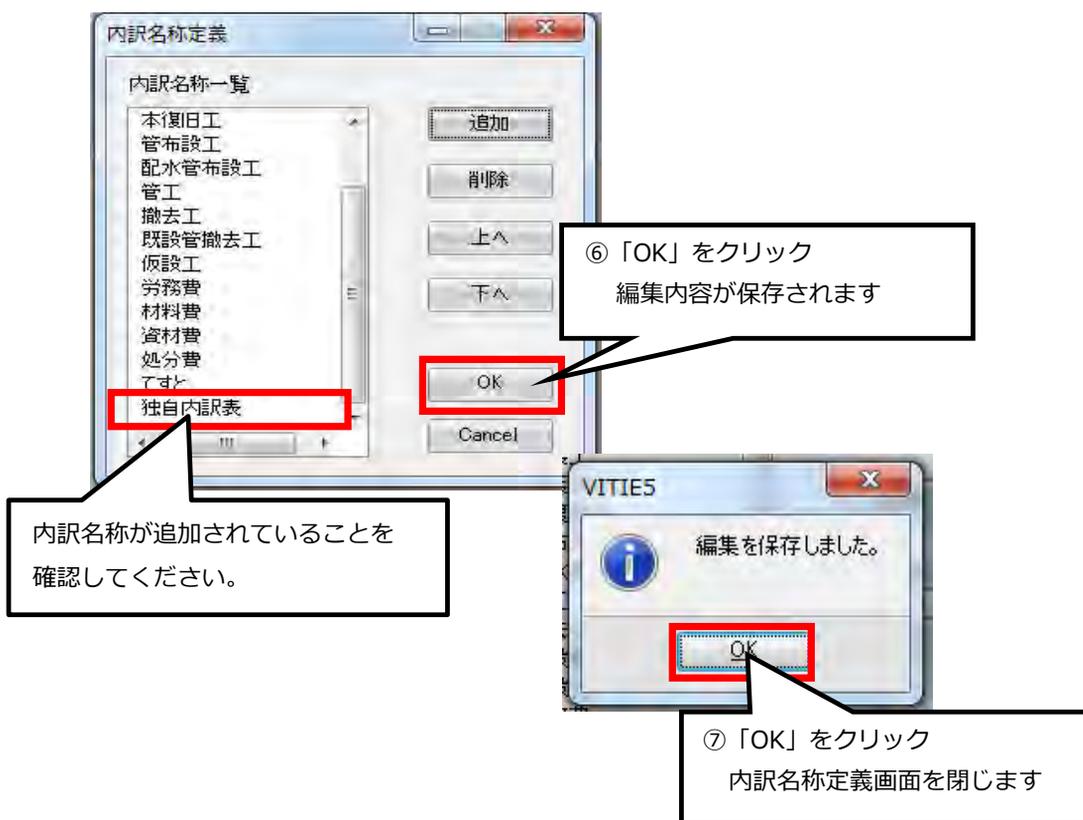


「内訳名称定義」画面に移ります。





内訳名称一覧に追加登録されます。



補足説明

- (1) 削除する場合は、内訳名称一覧から削除名称をクリックし「削除」をクリックします。
- (2) 名称をクリックし「上へ」「下へ」で名称一覧での位置を編集できます。
(例：よく使用するものは上に、使わないものは下に)

5.階層の作成

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。

①「階層」をクリック

②設計書に合わせた構成をクリック

「階層」はひとつの階層を作成します
「第1階層から」「第2階層から」「第3階層から」を選択すると、どのような構成で作成するか表示されます

選択した構成の「階層」が作成されました。

③名称を任意のものに編集します

階層の下行に内訳を作成することもできます。
 種類の数字や名称欄にある「・」の数で階層のレベルを調整します。
 階層は親と子の関係になっているので
 「・」の数が1つであれば、第1階層の子
 「・」の数が2つであれば、第2階層の子を表しています。

階層のレベルを調整するときに使用します。

種別の数字は階層のレベルを表しています

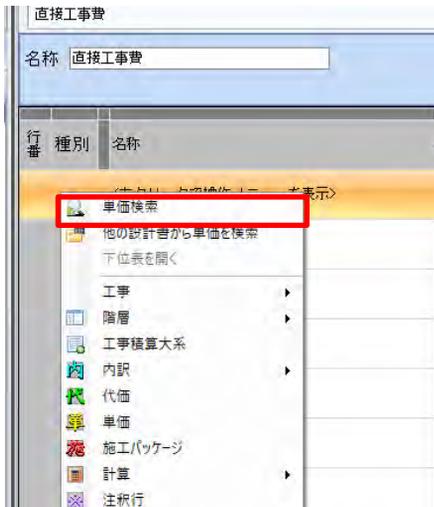
行番	種別	名	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	1	配水管布設管工事		式	1		12,000,000	
2	2	・φ100		式	1		4,500,000	
3	内	・・土工		式	1		1,000,000	
4	内	・・材料費		式	1		2,000,000	
5	内	・・配水管布設工		式	1		1,500,000	
6	2	・φ150		式	1		7,500,000	
7	内	・・土工		式	1		2,000,000	
8	内	・・材料費		式	1		3,000,000	
9	内	・・配水管布設工		式	1		2,500,000	

の合計 =
 の合計 =

6.単価検索からの単価の転送

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。

①「単価検索」をクリック



単価検索画面が表示されますので、利用したい単価を選択します。



6-1 施工単価

管路土工や配管布設工は施工単価 2 を使用します。

①施工単価 2 をクリック

②単価年度、地区、歩掛年度を設定

③中央部で操作する場合、項目をダブルクリックすると下位へ移ります

④値欄をクリックし 右側の選択項目から条件を選択します

⑤確定をクリック

⑥転送をクリック

⑦数量を入力します

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式	備考
E210101	1 管路掘削工		m3						
E210102	2 管路埋戻工		m3						
E210103	3 舗装版取壊し								
E210104	4 路盤工								
E210105	5 不陸整正工								
E210106	6 発生土運搬・処理工		m3						
E210107	7 アスファルト塊・コンクリート塊運搬・処理工		m3						
E210108	8 アスファルト舗装工		m2						

条件区分	値	単位	選択項目
J1 バックホウ	山積0.28m3[平積0.2m3]		山積0.05m3[平積0.06m3]
			山積0.10m3[平積0.1m3]
			山積0.20m3[平積0.2m3]
			山積0.45m3[平積0.05m3]9ヶ/1台(吊能力2.9t)
			山積0.45m3[平積0.05m3]
			山積0.8m3[平積0.6m3]9ヶ/1台(吊能力2.9t)

名称	規格	積算数量	単位	単価	金額	記	備考
バックホウ掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]	100	m3	2,118	211,800		

行番	種別	名称	規格	単位	数量	金額	摘要	帳票番号
1	緑	バックホウ掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]	m3	0	2,118	0	代価第1号

設計書に代価が追加されます。
数量を入力すると代価が完成しピンク色になります。

6-2 材料単価（材料や労務単価）

- ①「物価資料」のタブをクリックします。（※オプションの為、契約していないと非表示です）
- ②利用したい単価をクリックします。
- ③「転送」をクリックします。

①物価資料をクリック

②利用したい単価をクリック

③「転送」をクリック

コード	名称	規格	単位	単価	金額	物価	総計	備考
1	FCD直管 Gx形1種 水適用	径75mm×L4m 内面珪	本	22,000	22,000	22,000	{\$KN:建2020年10月283頁22000円 積2020年10月423頁22000円}	
2	FCD直管 Gx形1種 水適用	径100mm×L4m 内面珪	本	28,400	28,400	28,400	{\$KN:建2020年10月283頁28400円 積2020年10月423頁28400円}	
3	FCD直管 Gx形1種 水適用	径150mm×L5m 内面珪	本	51,700	51,700	51,700	{\$KN:建2020年10月283頁51700円 積2020年10月423頁51700円}	
4	FCD直管 Gx形1種 水適用	径200mm×L5m 内面珪	本	67,700	67,700	67,700	{\$KN:建2020年10月283頁67700円 積2020年10月423頁67700円}	
5	FCD直管 Gx形1種 水適用	径250mm×L5m 内面珪	本	83,400	83,400	83,400	{\$KN:建2020年10月283頁83400円 積2020年10月423頁83400円}	
6	FCD直管 Gx形1種 水適用	径300mm×L6m 内面珪	本	151,000	152,000	150,000	{\$KN:建2020年10月283頁152000円 積2020年10月423頁152000円}	
7	FCD直管 Gx形1種 水適用	径350mm×L6m 内面珪	本	166,000	166,000		{\$KN:建2020年10月283頁166000円 積TK:16}	
8	FCD直管 Gx形1種 水適用	径400mm×L6m 内面珪	本	207,000	208,000	206,000	{\$KN:建2020年10月283頁208000円 積2020年10月423頁208000円}	
9	FCD直管 Gx形1種 水適用	径75mm×L4m 内面珪	本	15,800	15,800	15,800	{\$KN:建2020年10月283頁15800円 積2020年10月423頁15800円}	

設計書に単価が追加されますので数量を入力します。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	単	FCD直管 Gx形1種 水適用	径75mm×L4m 内面珪	本	0	22,000		{\$KN:建2020年10月283頁22000円 積2020年10月423頁22000円}{\$TK:22000 22000 22000 AVE xx}

④数量を入力します

6-3 管材費の設定

- ① 右側にある集計対象よりプルダウンメニューを開きます
- ② 管材費をクリックします

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象
1	準	水道配水用ポリレン管 EF受口付直管	呼び径100mm 125×11.4mm×5m	本	31	16,100	499,100	【\$N: 2021年1月289頁15800円 積2021年1月430頁18600円】【\$TK: 16100 15600 16800 AVE xx】		集計対象
2	準	水道配水用ポリレン管 EF受口付直管	呼び径75mm 90×8.2mm×5m	本	48	10,000	480,000	【\$N: 2021年1月289頁9780円 積2021年1月430頁10400円】【\$TK: 10000 9780 10400 AVE xx】		集計対象
3	準	水道配水用 EFワット	高受 径100	個	1	4,980	4,980	【\$N: 2021年1月290頁4910円 積2021年1月431頁5010円】【\$TK: 4980 4910 5010 AVE xx】		集計対象
4	準	水道配水用 EFワット	高受 径75	個	5	2,980	14,900	【\$N: 2021年1月290頁2980円 積2021年1月431頁2980円】【\$TK: 2980 2980 2980 AVE xx】		集計対象

材料費の内訳を管材費に設定することもできます。
 この場合、内訳に積み上げた材料費が全て管材費の対象になります。
 管明示テープやシートなど管材費に計上しないものは内訳の下位表を開き
 管材費の対象から外す操作が必要です。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象
1	①	配水管布設工事		式	1		10,521,180			集計対象
2	②	・φ100		式	1		3,021,180			集計対象
3	内	・土工		式	1		1,000,000		内訳第1号	集計対象
4	内	・材料費		式	1		2,000,000		内訳第2号	集計対象
5	内	・配水管布設工		式	1		21,180		内訳第3号	集計対象

準	管明示テープ 工製品(再生材料)	W=150mm L=50m/巻 折込率2.0	m	31	137	4,247				管材費
---	------------------	------------------------	---	----	-----	-------	--	--	--	-----

青行の空欄部分をクリックすると
 管材費の対象から外れます

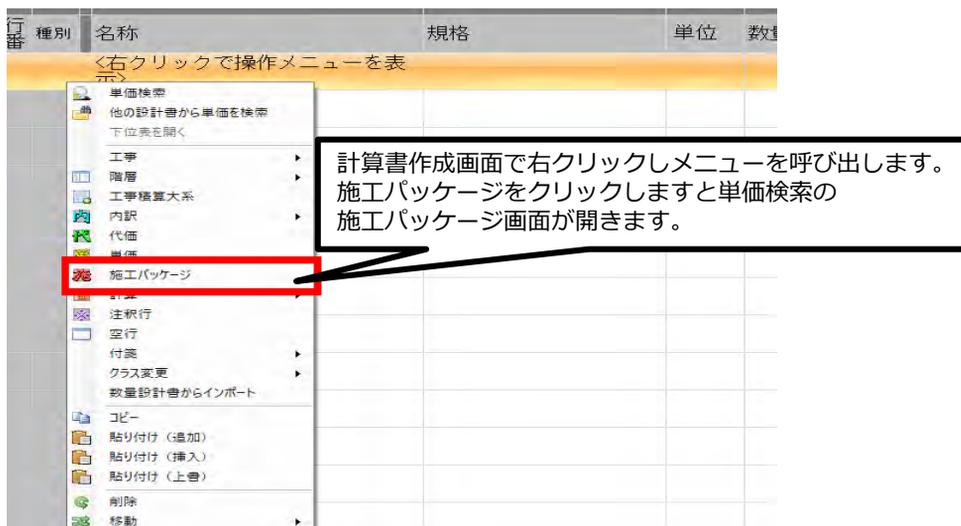
6-4. 施工パッケージについて

舗装版切断工のように実務必携の管路土工にない項目は、新しい積算方式である「施工パッケージ」を使用します。

施工パッケージの検索

★単価検索から施工パッケージを検索する場合

★設計書作成画面から施工パッケージを検索する場合



単価検索の施工パッケージ画面に移動しました。



施工P年度（施工パッケージ年度）・機械損料年度を設定します。

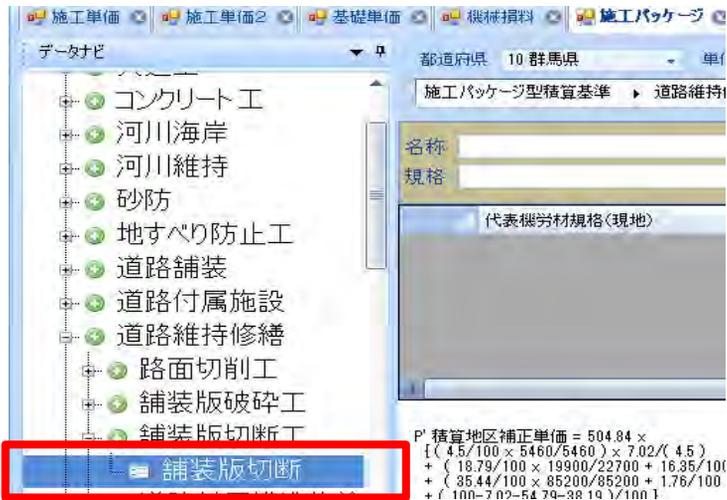
※ 注意 県ごとの歩掛適用時期で設定してください。

確認してください

単価年度 2021-01-01 地区 001 東信1 施工P年度 2020-04-01 機械損料年度 2020-07-01

施工パッケージの舗装版切断を検索してみます。

道路維持修繕→舗装版切断工→舗装版切断をクリックし進みます。



舗装版切断までクリックし進むと条件入力画面が表示されます。

設計書を見ながら施工パッケージの条件を選択します。

舗装版切断

① 舗装版種別を変更する場合「アスファルト舗装版」の文字をクリックします。

条件区分	条件	候補
1 舗装版種別	アスファルト舗装版	アスファルト舗装版 コンクリート舗装版 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版
2 アスファルト舗装版厚	15cm以下	
3 コンクリート舗装版厚	-	
4 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚	-	

② 全ての条件の選択が終わりましたら「確定」をクリックします。画面が移動します。

③ 舗装版種別候補が3種類あります。今回は、「アスファルト舗装版」を選択します。

施工パッケージの計算結果が表示されます。

④ 歩掛と同じように中身を確認し、右上の転送ボタンをクリックし、設計書に転送します。

東信1 施工P年度 2020-04-01 機械損料年度 2020-07-01 設計に戻る 転送 上位に戻る

12号 コード SAP207_1-UfxdXV 標準単価 558.1
単位 m 積算単価 540.2

構成比	単価(現地)	補正式	摘要	コード	代表機券
6.29					
4.25	5,460			M116101402040	コンクリ
54.24					
18.9	22,800			Y0000001624	特殊作業
9.56	23,200			Y0000001643	土木一般
8.2	19,700			Y0000001625	普通作業
39.47					
36.63	85,200			Y0000001471	コンクリ
1.92	131			Y0000000275	ガソリン

6-5 施工パッケージの材料を変更する方法

(代表機材規格一覧に記載がない規格を積算する場合)

「アスファルト舗装工」

再生粗粒度アスファルト混合物（20）を再生密粒度アスファルト混合物（13）に変更。

基層（車道・路肩部） m2

条件区分	値	単位
1 平均厚さ	25mm以上35mm未満	
2 平均幅員	14m未満	
3 材料	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	
4 瀝青材料種類	メココート PK-4	

② 材料の名称部分をクリックします。画面右に代表材料一覧が表示されます。

① 現地使用材料が代表材料一覧に無い場合は「変更」ボタンをクリックします。

変更

説明

次へ 前へ 確定

使用材料の候補一覧画面に移動します。

機材市場単価の検索

名称	規格	単位	単価	コード
★アスファルト混合物	粗粒度AS混合物(20)			
★再生アスファルト混合物	再生粗粒度AS混合物(20)			
★粗粒度アスコン	規格 改質Ⅱ型(20)			
★アスファルト混合物	密粒度AS混合物(13)			
★アスファルト混合物	密粒度AS混合物(13)	t	12,000	P0108010080
★再生アスファルト混合物	再生密粒度AS混合物(20)	t	10,900	P010801008010
▶ ★再生アスファルト混合物	再生密粒度AS混合物(13)	t	10,900	P0108010070
★改質アスファルト混合物	密粒AS混合物(13)改質ASI型(20)	t	14,100	P0108010080
★改質アスファルト混合物	密粒AS混合物(13)改質ASII型(20)	t	13,800	P0108010090
★密粒度アスコン	規格 改質アスコンⅠ型(13)-50,75	t	14,100	P0108010100
★密粒度アスコン	規格 改質アスコンⅡ型(13)-50,75	t	14,100	P0108010110
★アスファルト混合物	密粒度キヤップAS混合物(13)	t	12,300	P0108010120
★アスファルト混合物	細粒度AS混合物(13)	t	12,250	P0108010130
★再生アスファルト混合物	再生細粒度AS混合物(13)	t	11,150	P0108010140
★透水性アスコン	規格 開粒度アスコン(13)歩道用	t	11,900	P0108010150
★アスファルト混合物	キヤップアスファルト混合物(13)	t	15,000	P0108010160
★アスファルト混合物	開粒度AS混合物(13)	t	11,900	P0108010170
★アスファルト混合物(安定処理材)	AS安定処理(40)	t	11,500	P0108010180
★再生アスファルト混合物(安定処理材)	再生AS安定処理(40)	t	10,450	P0108010190
半たわみ性舗装用ゼオライト	超速硬型	kg	190	P0108010200
半たわみ性舗装用ゼオライト	普通型	kg	120	P0108010210

③ 再生密粒度アスファルト混合物（13）を選択しダブルクリック。もしくは…

再生密粒度アスファルト混合物（13）を選択し、確定をクリックします。

単位: t
タガ: AS
コード: P0108010070

検索

確定 キャンセル

(注意点) アスファルト混合物を変更する場合は、同一の「標準締固め後密度」を採用しているアスファルト混合物の標準単価や機労材構成比を準用する必要があります。

選択した材料に変更されます。

ここでは、再生粗粒度アスファルト混合物(20)から再生密粒度アスファルト混合物(13)に。

基層(車道・路肩部) m2

条件区分	値	単位
1 平均厚さ	25mm以上35mm未満	
2 平均幅員	1.4m未満	
3 材料	★再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	
4 瀝青材料種類	タックコート PK-4	

選択項目

- 再生粗粒度アスファルト混合物(20)
- 細粒度アスファルト混合物(13)
- 開粒度アスファルト混合物(13)
- 各種(1.90以上2.00t/m3未満)
- 各種(2.00以上2.10t/m3未満)
- 各種(2.10以上2.20t/m3未満)

変更

説明

④条件選択が完了しましたら、最後に「確定」ボタンをクリックします。

次へ 前へ 確定

⑤選択した条件で施工パッケージを計算し、積算単価が表示されます。転送ボタンをクリックすると設計書に転送されます。

都道府県 11 埼玉県 単価年度 2016-04-01 地区 001 県南 適用年度 2015-10-01 機械損料年度

設計に戻る 転送 上位に戻る

施工パッケージ種別基準 ▶ 道路維持修繕 ▶ 舗装版切替 ▶ 舗装版切替

名称 基層(車道・路肩部) 帳票番号 施工第1号 コード UUz3gM-P171_1 標準単価 1,700.0

規格 25mm以上35mm未満,1.4m未満★再生アス 条件変更 単位 m2 積算単価 1,837

代表機労材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)
K 機械	-	0.65	
K1 振動ローラ(舗装用)[ハットガイト式]質量0.5~...	供用日	0.37	1,360
K2 振動コンパクタ[前進型]質量40~60kg	供用日	0.19	312
R 労務	-	54.87	
R1 特殊作業員	人	24.59	21,400
R2 普通作業員	人	17.13	19,000
R3 土木一般世話役	人	5.19	21,900
Z 材料	-	44.48	
Z1 ★再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	t	42.07	10,900
Z2 ★アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	kg	2.18	91
Z3 ★カソリン レキェラー	kg	0.16	100
Z4 ★軽油 1.2号	kg	0.04	88

7.新規代価（単価）の作成

標準代価の中にない歩掛は新規代価として作成します。

新規代価を作りたい行の名称欄を右クリックで操作メニューを呼び出します。

①右クリックで操作メニューを呼び出し、「代価」をクリックします。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設				
3	③	配水管布設(A地区)				
4	代	鋳鉄管吊込据付(機械)		m	100	1,139
5	代	NS継手接合 直管	100mm	□	20	1,934

Context Menu Options:

- 単価検索
- 下位表を開く
- 階層
- 印刷
- 代価 (Selected)
- 単価
- 施工パッケージ
- 計算
- 注釈行

選択した行に「新規代価」ができます。（「単価」を選択すると「新規単価」ができます）

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設		式	1	
3	③	配水管布設(A地区)		式	1	
4	代	鋳鉄管吊込据付(機械)	100mm	m	100	1,139
5	代	NS継手接合 直管	100mm	□	20	1,934
6	代	<新規代価>		式	0	0

ここで新しい代価の名称と単位及び数量を入力します。（単価の場合はここで名称・規格・単位・数量・単価を直接入力します）

ここでは名称を「仮管布設工」、単位を「m」、数量を「15」と入力してみます。

直接工事費

直接工事費

名称

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設				
3	③	配水管布設(A地区)				
4	⚙️	鋳鉄管吊込据付(機械)	mm	m	100	1,139
5	⚙️	NS継手接合 直管	100mm	□	20	1,934
6	⚙️	仮管布設工		式	15	0

②名称欄をクリックし、名称を入力します。
(ここでは「仮管布設工」)

③単位欄をクリックし、プルダウンメニューから単位を選択します。(ここでは「m」)
プルダウンメニューにない場合はキーボードから入力することもできます

④行番の上をダブルクリック、または右クリックで操作メニューから「下位表を開く」を選択します。

仮管布設工の下位表（代価詳細）に移動しました。

直接工事費 代価詳細

直接工事費 > 配水管工事 > 配水管布設 > 配水管布設(A地区) > 仮管布設工

名称 帳票番号 コード

規格 積算数量 単位

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額

まず積算数量を「10」に変更し、代価を作成します。（10m当たりや100m当たりなどで作成する場合に必ず設定する必要があります。初期設定では「1」になっています）

10m当たり普通作業員2.0人及び諸雑費を労務費の5%として作成してみます。
単価検索を利用して基礎単価の普通作業員を貼り付けます。

⑤積算数量を「10」に変更します

⑥単価検索から普通作業員（基礎単価）を転送します

⑦数量を「2」と入力

⑧右クリックで操作メニューから「計算」内の「任意計算」を選択します

番	規格	単位	数量	単価	金額
1	普通作業員	人	2	18,300	36,600

次に任意計算「労務費の5%」の式を作ります。

記号欄をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。（ここでは「A」を選択）

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	単	普通作業員		人	2	18,300	36,600							
2	計	計算式		式	1		0							A

⑨記号欄をクリックし、プルダウンメニューから「A」を選択します

続いて計算方法欄をダブルクリックし、計算式入力画面を開きます。
ここでは「計算式」にA*0.05:V4と入力。

計算式行の金額欄に計算された金額「1,830」が入りました。

金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
36,600							A
1,830						A*0.05:V4	

仮管布設工の代価が完成です。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	準	普通作業員		人	2	18,300	36,600							A
2	式	計算式		式	1		1,830						A*0.05	

補足説明

- (1) A * 0. 0 5 は記号Aの付いた金額の5%を意味しています。
- (2) 代価表の合計金額を有効数字4ケタで切り捨てて丸めたい場合は：V 4 と入力します。
(有効数字4ケタで丸める必要がない場合は不要です)
- (3) 代価表の合計金額を有効数字4ケタで切り上げて丸めたい場合は、「諸雑費（有効4桁丸め）
国交省、厚生省」を選択します。
- (4) 有効数字4ケタとは高位の数字から4ケタで、例えば「5 3 4 , 8 2 9 円」の場合は上から
4ケタは「5 3 4 8 …」となり百円単位で丸めることとなります。
切り下げの場合は「5 3 4 , 8 0 0 円」となり、切り上げの場合は「5 3 4 , 9 0 0 円」となります。
- (5) 作成した代価を今後も利用する場合は、ユーザ単価に保存しておくことができます。

計算方法を使用した割増と割引【例】

- ① 労務費（普通作業員）と機械経費（コンクリートカッタ運転）の合計額の56%増しの場合

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	人	普通作業員		人	0.42	18,300	7,686	100/C1 (C1=240)						B
2	日	コンクリートカッタ運転(パキーム式)	切削深20cm級	日	0.42	28,340	11,902	100/C1	代価第 5002号					E
3	枚	★コンクリートカッタ(ブレード)	径22cm径	枚	0.21	81,500	17,115						A	
4		計算式		式	1		10,989						(B+E)*0.56	

① 右クリックで操作メニューから「計算」内の「任意計算」を選択します

② 記号欄をクリックし、普通作業員は「B」、
コンクリートカッタ運転は「E」を選択

③ 計算式に (B + E) * 0. 5 6 と入力

- ② 労務費と機械経費の合計額の20%引きの場合

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	人	普通作業員		人	0.42	18,300	7,686	100/C1 (C1=240)						B
2	日	コンクリートカッタ運転(パキーム式)	切削深20cm級	日	0.42	28,340	11,902	100/C1	代価第 5002号					E
3	枚	★コンクリートカッタ(ブレード)	径22cm径	枚	0.21	81,500	17,115						A	
4		計算式		式	1		-3,917						-(B+E)*0.2	

① 右クリックで操作メニューから「計算」内の「任意計算」を選択します

② 記号欄をクリックし、普通作業員は「B」、
コンクリートカッタ運転は「E」を選択

③ 計算式に - (B + E) * 0. 2 と入力

8.行の削除

削除したい行を選択し、右クリックで操作メニューを呼び出します。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	緑	単価検索	山積0.08m3[平積0.06]	m3	10	2,403	24,030
2	緑	切込砕	小型バックホウ山積0.08m3[平積0.06]	m3	15	5,908	88,620

①対象の行をクリック

②「削除」をクリック

選択した行が削除されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	緑	管路埋戻費(機械埋戻) 砂 口率+0.11	小型バックホウ山積0.13m3[平積0.10]	m3	20	2,423	48,460

★複数行削除する場合

例. 行番 1～3 を削除する

行番 1 にカーソルを合わせクリックします。shift キーを押しながら行番 2・行番 3 をクリックします。

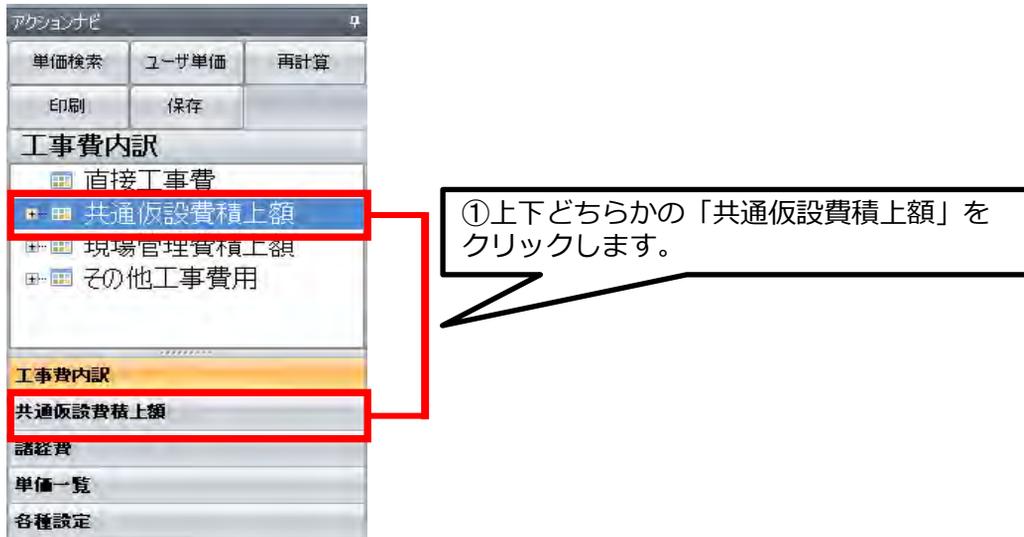
または行番 1 を指定 (左クリック) した状態で行番 2 →行番 3 へカーソルを移動させると複数行選択できます。

範囲指定された行はオレンジ色に着色されます。右クリックで操作メニューを呼び出し、「削除」をクリックします。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	緑	小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3[平積0.06]	m3	10	2,288	22,880
2	緑	鋼鉄管吊込据付(機械)	75mm以下	m	5	1,038	5,190
▶ 3	緑	路盤工(施工幅1.8m未満)	砕石(C-40) 厚10cm	m ²	15	758	11,370

9. 共通仮設費積上額の入力

直接工事費画面にて、共通仮設費積上額画面を開きます。

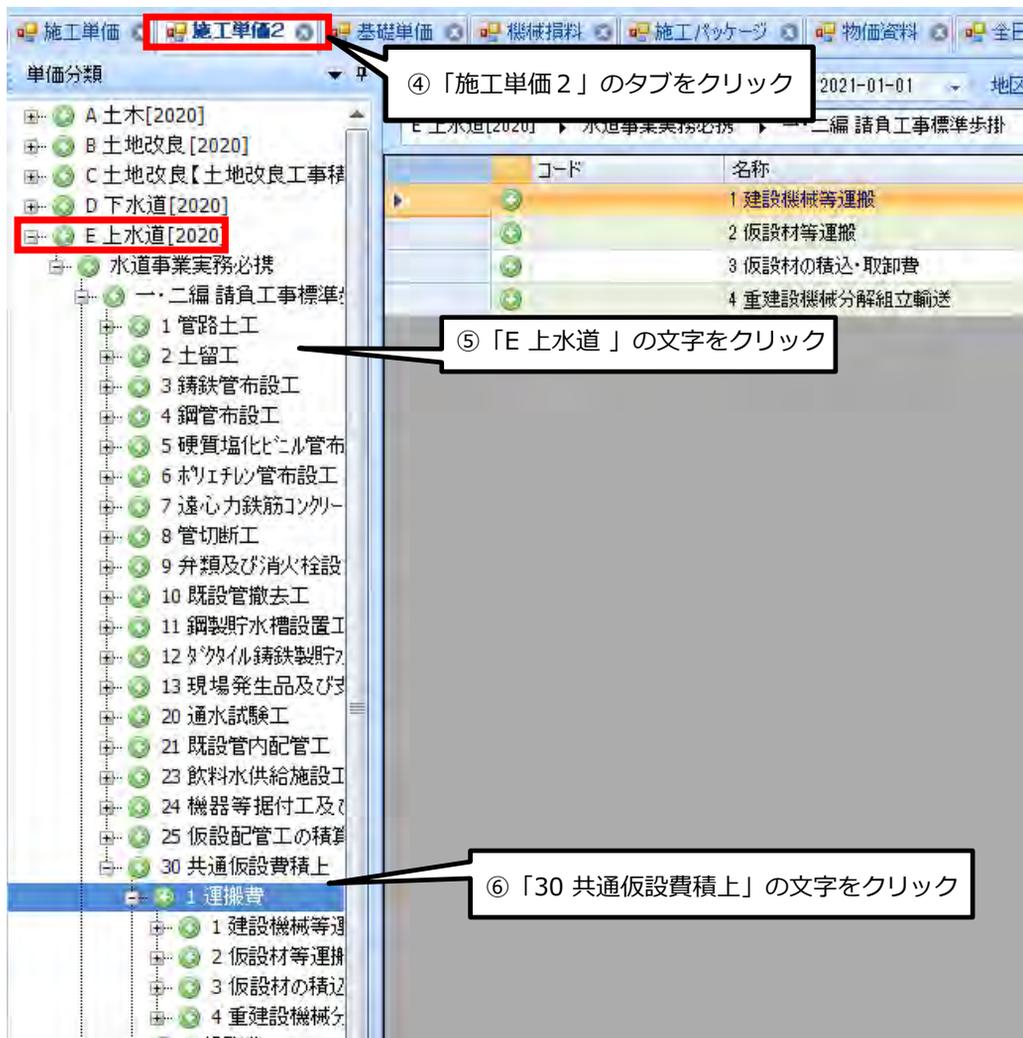
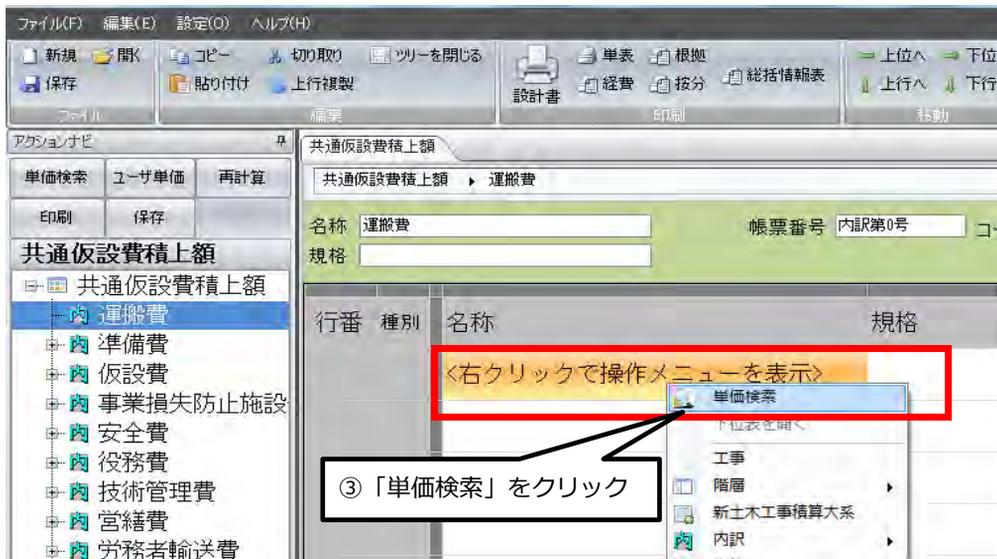


共通仮設費の各種積み上げ項目が表示されます。
ここでは、「仮設運搬費」を運搬費として積み上げます。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	内	運搬費		式	1	
2	内	準備		式	1	
3	内			式	1	
4	内	事業損失防止施設費		式	1	
5	内	安全費		式	1	
6	内	役務費		式	1	
7	内	技術管理費		式	1	
8	内	営繕費		式	1	
9	内	労務者輸送費		式	1	
10	内	現場環境改善費		式	1	

②行番号をダブルクリック

内訳書（下位表）が開きます。右クリックで操作メニューを呼び出します。



< 3 仮設材の積込・取卸費から条件を選択します >

歩掛条件区分

1 仮設材の積込・取卸費

条件区分	値	単位	選択項目
J1 作業	基地積込～現場取卸		<ul style="list-style-type: none"> 基地積込～現場取卸 現場取卸～現場積込 現場積込～基地取卸 基地積込～現場～基地取卸 基地積込 現場取卸

説明

確定

⑦条件を選択し確定ボタンをクリック

⑧転送ボタンをクリック

単価年度 2021-01-01 地区 001 東信1 歩掛年度 2020 機械損料年度 2020-07-01 豪雪

設計に戻る 転送 上位に戻る

仮設材の積込・取卸費 > 1 仮設材の積込・取卸費 > 仮設材積込・取卸費(鋼矢板,H鋼,覆工板等)

覆工板等) E11022131-UPIT6s 合計 1,500
 条件変更 積算数量 1 単位 t 単価 1,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額
鋼材積込費	基地積込	t	1	750	750
鋼材取卸費	場内取卸	t	1	750	750

内訳書（下位表）に戻り、単価が貼り付きました。

共通仮設費積上額 > 運搬費

名称 運搬費 帳票番号 --- コード ZZ3-運搬費
 規格 式

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	代	仮設材積込・取卸費(鋼矢板,H鋼,覆工板等)	基地積込～現場取卸	t	0	1,500	0	

⑨数量を入力します

10. 諸経費の計算



その時点での直接工事費の合計額と、それに対応する間接費の率額が自動計算され表示されます。

科目名	金額/値(当世代)	計算方法	桁数	丸め方法
A 直接工事費	2,380,000	固定値	整数1位(1円)未満	切り捨て
B 共通仮設費率額	298,000	固定値	整数4位(1千円)未満	切り捨て
C 共通仮設費対象額	2,380,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
D 共通仮設費率	12.53%	自動計算	小数第4位未満	四捨五入
E1 現場環境改善費率額		計算しない		
F1 現場環境改善費対象額		計算しない		
G6 現場環境改善費率		計算しない		
H 共通仮設費率額		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
I 共通仮設費計	298,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
J 純工事費	2,678,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
K 現場管理費率額	1,125,000	自動計算	整数4位(1千円)未満	切り捨て
L 現場管理費対象額	2,678,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
M 現場管理費率	42.02%	自動計算	小数第4位未満	四捨五入
MG 現場管理費率額		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
N 現場管理費計	1,125,000	自動計算	整数4位(1千円)未満	切り捨て
O 工事原価	3,803,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
P 一般管理費率額				
Q 一般管理費対象額	3,803,000			
R 一般管理費率				
U 契約保証費				
W1 一般管理費調整額				
W 一般管理費等計	767,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
ZG その他工事費用		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
X 工事価格	4,570,000	自動計算	整数5位(1万円)未満	切り捨て
Y 消費税	369,600	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
YR 消費税率	8%	自動計算	小数第2位未満	四捨五入
ZA 工事費計	4,939,600	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て

工事価格は初期設定では1000円未満切り捨てになっていますが、10000円未満切り捨てや丸めなしなど自由に変更できます。

詳細設定と率の補正を以下の手順で行います。



1. 経費各種条件の確認
- ↓
2. 経費対象額詳細の確認
- ↓
3. 再計算ボタンをクリック

10-1 水道工事

水道工事は管材費の取扱いに特徴があります。

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

各種設定

諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

経費計算結果

表紙(プリセット対象外) ▼

端数処理 ▼

帳票番号 ▼

合算/変更設計(プリセット対象外) ▼

その他 ▼

①「経費各種条件」をクリック

②工事種類、工種区分を選択します

金額/値(当世代)欄をクリックすると▼印が表示されます。

▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。

該当する項目を選択してください。

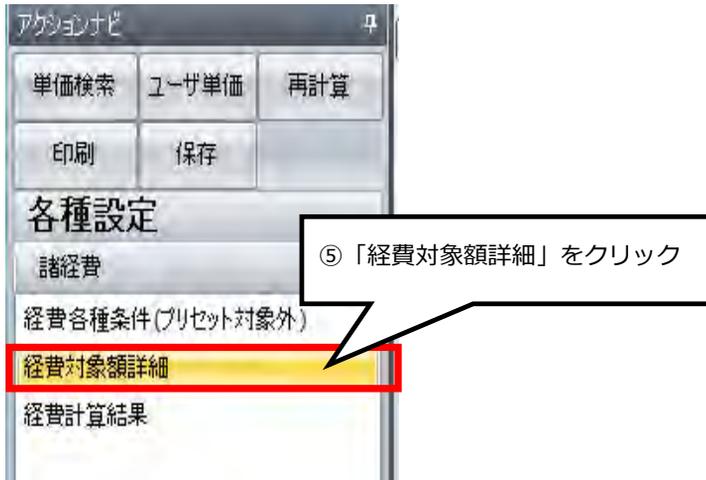
(ここでは工事種類を「**水道工事(水道実務～)**」、工種区分を「**開削工事及び～**」に設定します。)

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ KS 工事種類	水道工事(水道実務必…)	
KB 工種区分	開削工事及び小口径推…	
KY 経費年度	2018	
Z23 共通仮設費補正		補正しない
Z71 現場環境改善費区分		計算しない
Z56 共通仮設費補正(被災地)	1	補正しない
Z57 現場管理費補正(被災地)	1	補正しない
Z58 現場管理費補正(工事場所)		補正しない
Z59 現場管理費補正(緊急工事)		補正しない
Z60 現場管理費補正(冬期)		補正しない
Z61 一般管理費補正(前払金支出割合)	1	補正しない
Z62 一般管理費補正(前払金支出割合)		補正しない

工事種類、工種区分により経費率が変わるので、
設計書や入札公告から適切なものを選択します。

10-1-1 管材費の設定

経費条件や各種補正の設定が終わりましたら、次に管材費や支給品などの率分の対象額に影響する項目を入力します。



	科目名	金額/値(当世代)
▶ Z1	直工に含まれる管材費	
Z2	支給品に含まれる管材費	
C1	対象管材費	
Z8	直工に含まれる処分費	
Z9	準備費に含まれる処分費	
C22	処分費超過額	
C2	対象処分費	
Z6	桁等購入費	
Z36	支給品等(桁等購入費)	
Z37	支給品等(一般材料費)	
Z38	支給品等(別途製作の制作費)	
Z39	支給品等(電力)	
Z4	無償貸付機械評価額	
Z5	事業損失防止施設費	
Z7	鋼橋門扉等工場原価	
Z40	現場発生品	
Z44	外注費(共通仮設費)	

⑥直接工事費を入力するとき「集計対象」を管材費と設定すると自動的に計上されます。もしくは管材費の合計金額を直接手入力します。

水道工事の各項目と間接費対象額との関係は下表のとおりです

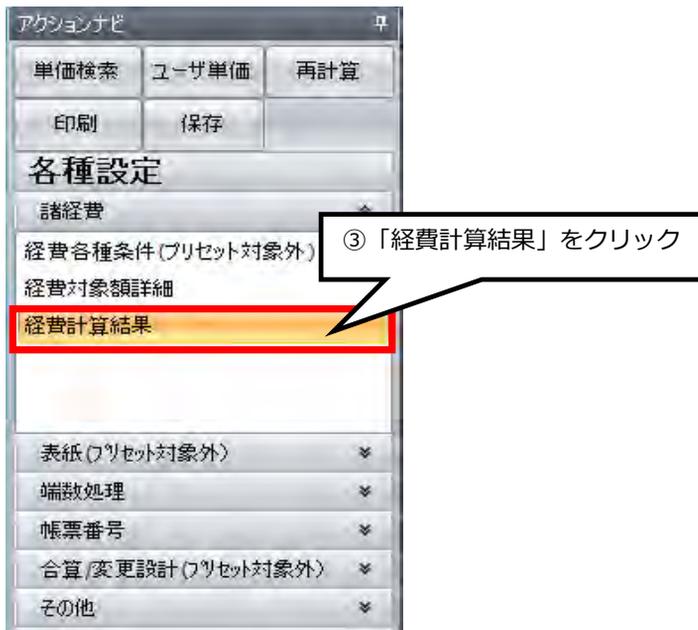
間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費
項目	対象額	対象額	直接工事費 + 共通仮設費 = 純工事費	純工事費 + 現場管理費 = 工事原価
		管材費	○ (原則1/2の金額)	○ (原則1/2の金額)
	桁等購入費	×	○	○
処分費等				
支給品等	管材費	○ (原則1/2の金額)	○ (原則1/2の金額)	×
	桁等購入費	×	○	×
	一般材料費	○	○	×
	別途製作の製作費	×	×	×
	電力	○	○	×
無償貸与機械評価額		○	○	×
鋼橋門扉等工場原価		×	×	○
現場発生品		×	×	×

○は対象とする ×は対象としない

1. 共通仮設費対象額とは直接工事費+支給品費+無償貸与機械評価額+事業損失防止施設費+準備費に含まれる処分費です。
2. 桁等購入費とはPC 桁,簡易組立式橋梁,グレーチング床版,門扉,ポンプの購入費です。
3. 管材費とは導水、浄水、送水、配水において水を直接輸送する管類とその接合材料、仕切弁、消火 栓、空気弁等の弁類、その他流量計等の管路付属設備の費用を言う。なお、きょう類、さや管類、外面被覆材等の費用は含まない。※管材は管等の内面が水に接する材料である。
4. 現場発生品とは、同一現場で発生した資材を物品管理法で規定する処理を行わず再使用する場合をいいます。
5. 別途製作したものを一度現場に設置した後に発生品となり再度支給する場合の扱いは、別途製作費と同じ扱いとします。

処分費等の取扱いは下表のとおりです

区分	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%以下で、かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合
共通仮設費	処分費等は 全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
現場管理費	処分費等は 全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
一般管理費	処分費等は 全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。



プリセット: 00_デフォルト

選択 保存

科目名	金額/値(当世代)	計算方法	有効数字
M1 値引前直接工事費	1,000,000	自動計算	1円未満
M2 材料費の値引		固定値	
M3 その他の値引		固定値	
A 直接工事費	1,000,000	自動計算	1円未満
M6 諸経費率額	100,000	自動計算	1円未満
M61 諸経費率	10.00%	自動計算	1円未満
M5 諸経費積上額		自動計算	1円未満
M4 諸経費計	100,000	自動計算	1円未満
M8 値引前工事価格	1,100,000	自動計算	1円未満
M9 工事価格の値引		固定値	
X 工事価格	100,000	自動計算	1000円未満
Y 消費税		自動計算	1円未満
ZA 工事費			

④ 「諸経費計」を確認
工事種類を民間工事に設定すると、間接費を共通仮設費や現場管理費などに分かれずに、諸経費計として一項目にまとめることができます。

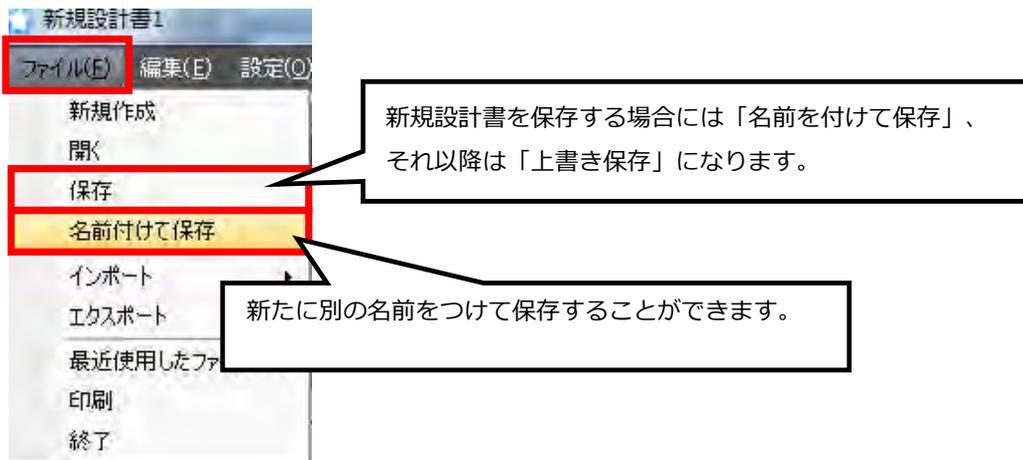
諸経費率は初期設定で10% (0.1) になっています。率を変更する場合は直接入力し再計算ボタンをクリックすると変更した率で経費計算されます。

11.頂を終了（保存）する

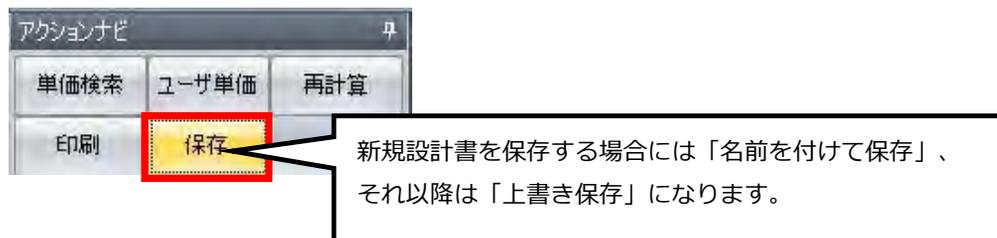
11-1 頂を保存する

注意！！自動保存ではないので必ず保存の実行が必要です。

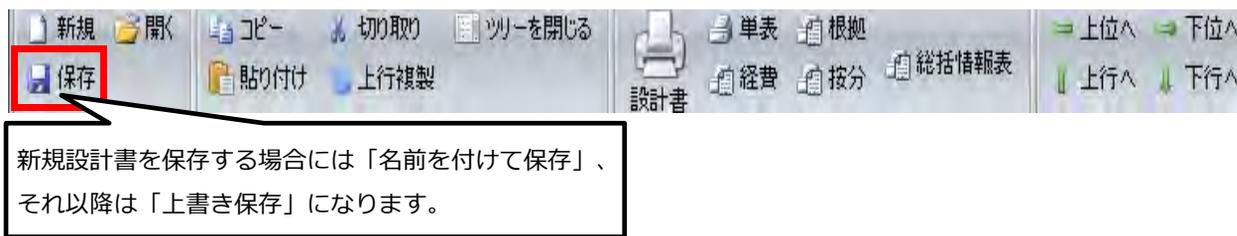
ツールバーの「ファイル」メニューから保存ができます。



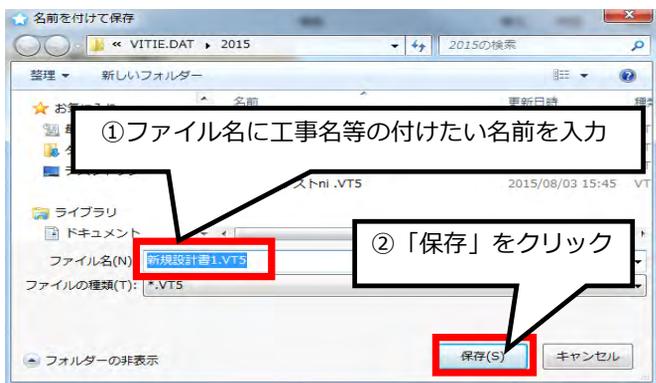
アクションナビの「保存」ボタンで保存ができます。



コマンドバーの「保存」からも保存できます。

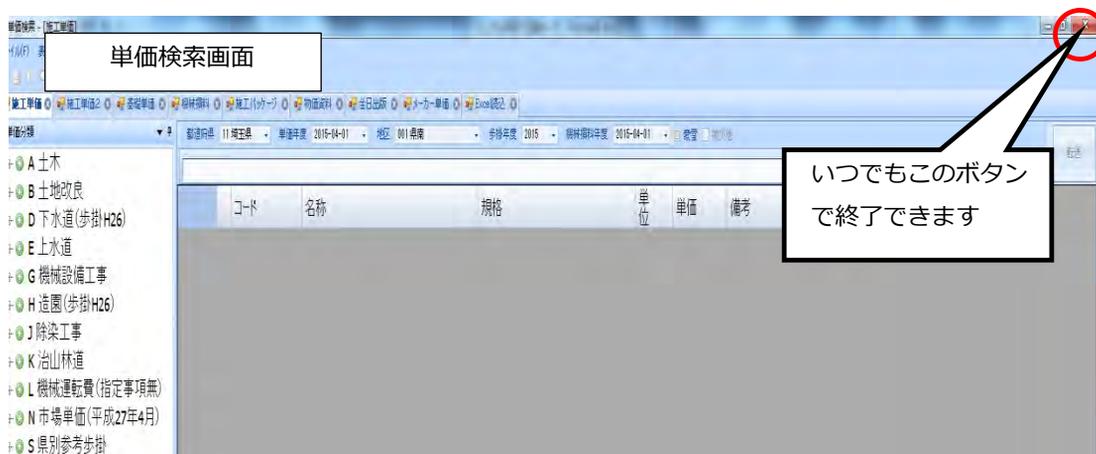


★ 新規設計書を保存する場合は「名前を付けて保存」画面が表示されます。

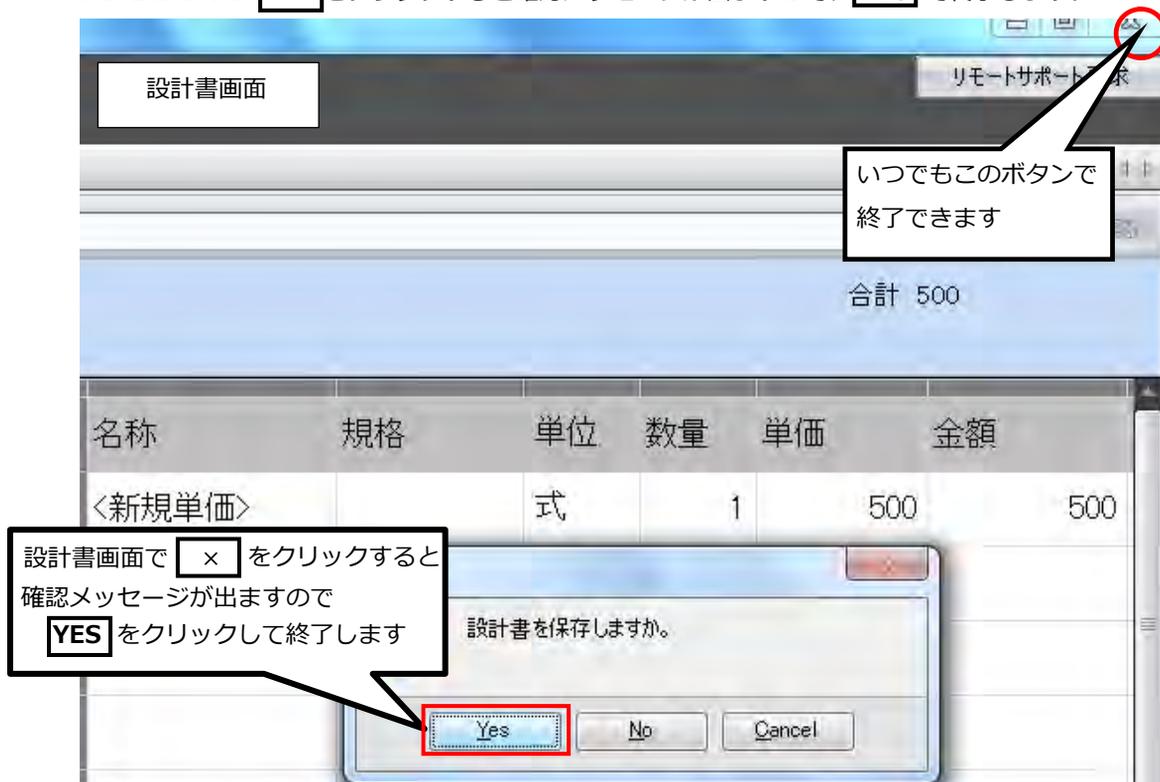


11-2 頂を終了する

単価検索画面・設計書画面のどの画面でも画面右上の **×** ボタンで終了します。

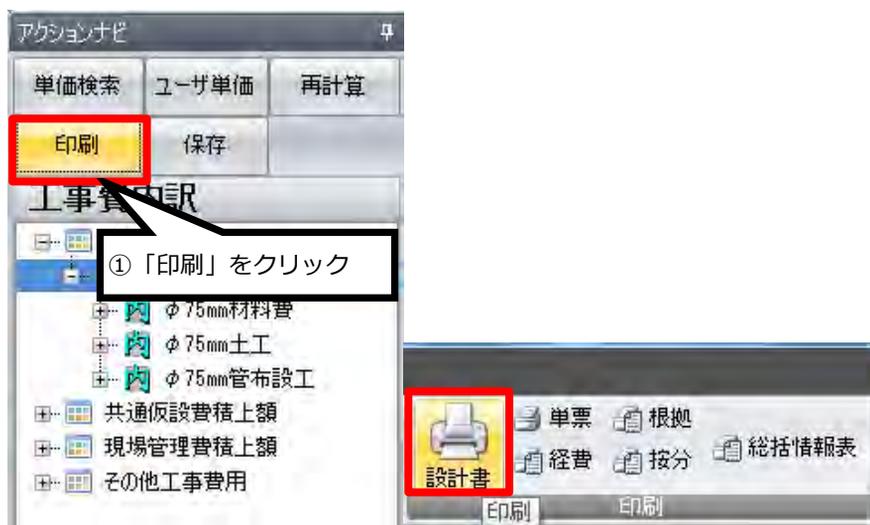


設計書画面では **×** をクリックすると確認メッセージが出ますので、**YES** で終了します。

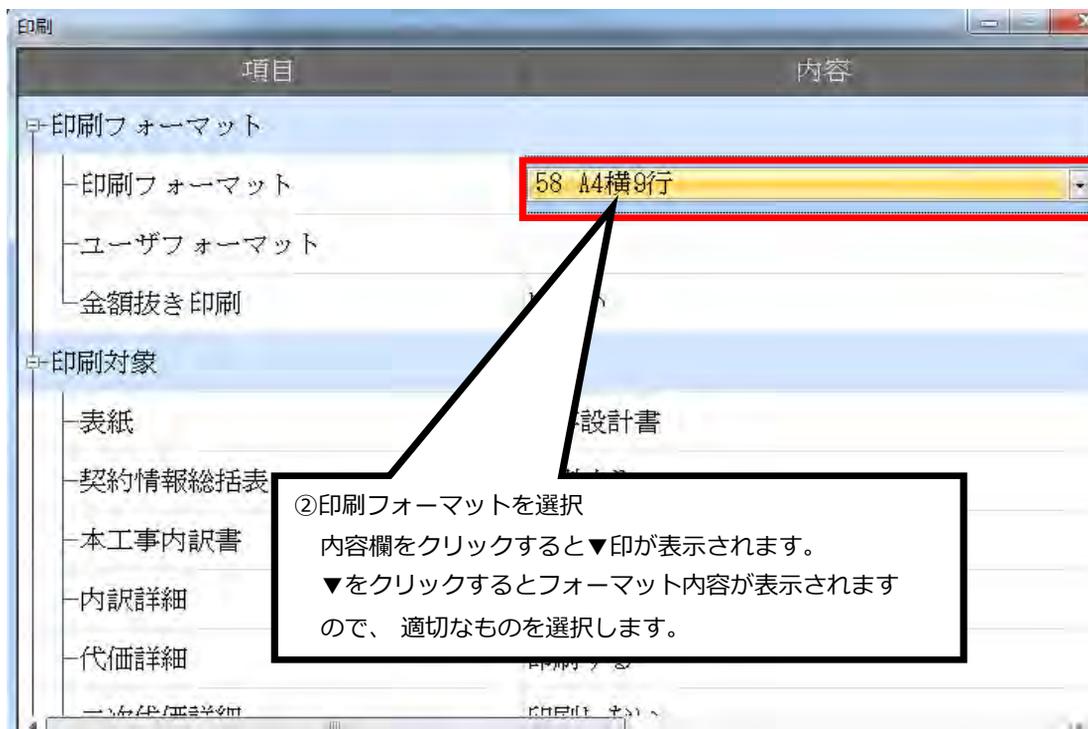


印刷関係

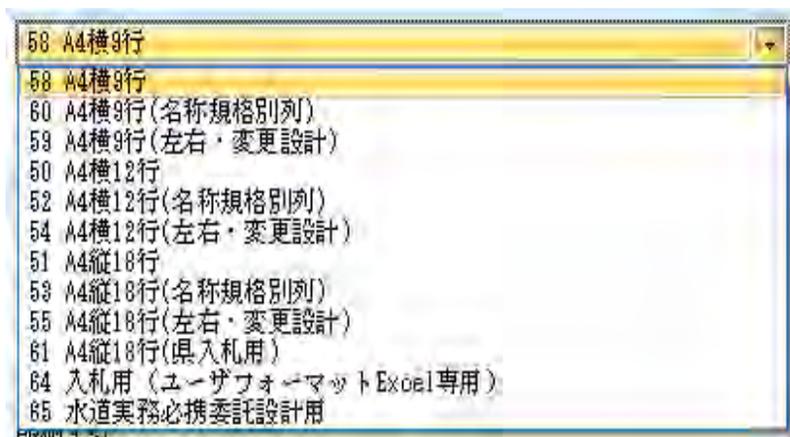
画面左の「印刷」、または画面上部のアイコンをクリックすると印刷設定画面へ移動します。



文字をクリックしますと設定一覧表が呼び出されます。



1.印刷フォーマットの各設定の説明



- ・名称規格別列

名称と規格をそれぞれ別列に表示します。

- ・左右・変更設計

当初設計を左列に、変更設計を右列に表示します。

- ・県入札用

一般的な入札金額内訳書に、頂で作成したデータ（各工種、経費）を表示します。

- ・入札用（ユーザフォーマットExcel 専用）

データを取り込んだ各市町村の入札金額内訳書に、頂で作成したデータ（各工種、経費）を表示します。※積算する各市町村の入札金額内訳書データ（Excel 形式）を事前に弊社までお送りください。

ただし、一部取り込むことが出来ないデータがあります。

2.印刷対象の設定

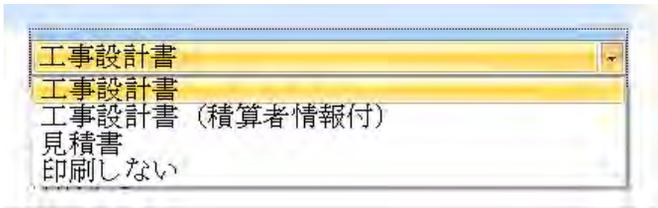
印刷対象「表紙」の設定をします。「工事設計書」をクリックします。

項目	内容
印刷フォーマット	
印刷フォーマット	58 A4横9行
ユーザフォーマット	
金額抜き印刷	する
印刷対象	
表紙	工事設計書
総括情報表	印刷しない
契約情報表	印刷しない

▼印が出ますのでクリックします。表紙の設定一覧表が呼び出されます。

項目	内容
印刷フォーマット	
印刷フォーマット	58 A4横9行
ユーザフォーマット	
金額抜き印刷	する
印刷対象	
表紙	工事設計書
総括情報表	印刷しない
契約情報表	印刷しない
本工事内訳書	印刷しない

3.表紙の各設定についての説明



- 工事設計書
各市町村でよく使われている表紙フォーマットで印刷します。
(Excel で出力することで文字の配置など自由に編集出来ます)
- 工事設計書 (積算者情報付)
入力した積算者情報を表紙に印刷します。(積算者情報の入力方法はマニュアル10ページ参照)
- 見積書
民間工事などで見積書が必要なときに設定してください。御見積書として表紙が印刷されます。
入力した見積情報を表紙に印刷します。(見積情報の入力方法はマニュアル12ページ参照)
- 印刷しない
表紙が必要無ければ印刷しないに設定します。

4.単価表の設定

・4-1 出典を印刷

本工事内訳書、施工内訳書に出典が存在する場合は備考欄に表示されます。施工代価表に出典が存在する場合は備考欄及び印刷物右上に表示されます。「出典を印刷」の設定を「しない」にすると、全ての出典が印刷されません。

項目	内容
代価表は新規代価のみ	印刷する
代価表は変更後の項目のみ	印刷しない
合算の印刷対象	全体
単価表の設定	
出典を印刷	する
備考欄を印刷	する
金額が 0 の行を印字	する
金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する

・4-2 備考欄を印刷

備考欄に表示される項目は5つあります。

- ① 設計書作成時に入力した摘要項目
- ② 備考欄に表示される出典項目
- ③ 帳票番号
- ④ 経費の対象額と率
- ⑤ 各種集計対象の集計値

初期設定では備考欄を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると摘要項目（①）、出典項目（②）を非表示にし、印刷しないように出来ます。帳票番号（③）、経費の対象額と率（④）、各種集計対象の集計値（⑤）を非表示にするためには別の項目で設定する必要があります。

4-3 帳票番号の印刷設定

単価表の設定	
出典を印刷	する
備考欄を印刷	する
金額が 0 の行を印字	しない
金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する
帳票番号を印刷	しない
「名称」の列名	名 称

初期設定では帳票番号を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると帳票番号
(③) を非表示にし、印刷しないように出来ます。

4-4 変更後のみを印刷する

「備考」の列名	備 考
当世代（最新設計）の列名	変更設計
前世代（一個前の設計）の列名	当初設計
前世代の単価・数量・金額を印刷	しない

前世代の単価・数量・金額を印刷「しない」に設定します。印刷フォーマットを 5 0 番、5 1 番、5
8 番のいずれかに設定します。

5.その他

5-1 経費の対象額と率の印刷設定

④-その他	
— 労務費の数量	印刷しない
— 機械賃料の数量	印刷しない
— 油脂類単価の数量	印刷する
— 経費の率額の備考に対象額と率	印刷しない
— 調整前工事価格を印刷する	印刷しない
— 備考欄に各種集計対象の集計値	印刷する

初期設定では経費の率額の備考に対象額と率を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると経費の対象額と率（④）を非表示にし、印刷しないように出来ます。

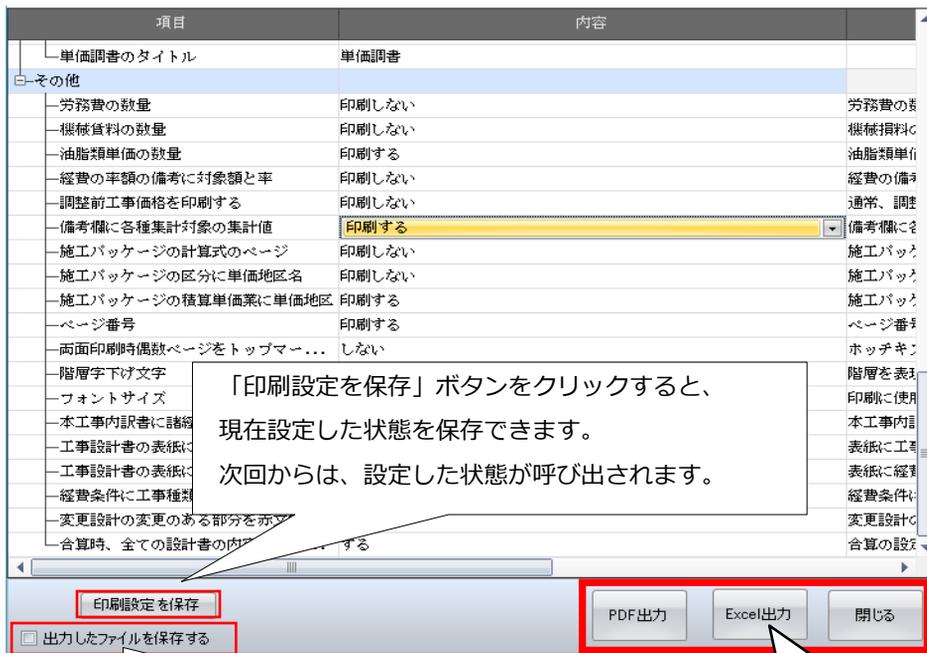
5-2 各種集計対象の集計値の印刷設定

④-その他	
— 労務費の数量	印刷しない
— 機械賃料の数量	印刷しない
— 油脂類単価の数量	印刷する
— 経費の率額の備考に対象額と率	印刷しない
— 調整前工事価格を印刷する	印刷しない
— 備考欄に各種集計対象の集計値	印刷する

初期設定では経費の率額の備考に対象額と率を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると経費の対象額と率（④）を非表示にし、印刷しないように出来ます。

以上4項目を「印刷しない」に設定していただくと備考欄を全て非表示で印刷出来ます。

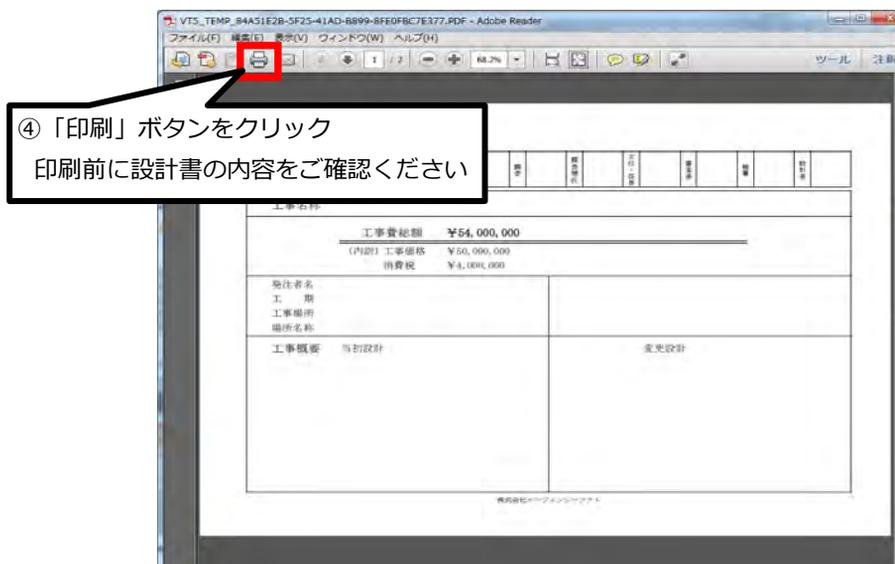
6.印刷設定の保存 ・ PDF ・ Excel 出力 ・ 出力したファイルの保存



「出力したファイルを保存する」に☑チェックをいれると、「PDF 出力」「Excel 出力」する際に、名前を付けて保存することができます

③ 「PDF 出力」または「Excel 出力」をクリックするとプレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面が表示されました。（ここではPDF 出力をしています）



印刷ボタンをクリックすると、お使いのプリンターとつながります。プリンター画面に従って印刷してください。

その他

1.前年度単価で作成した設計書を新年度単価、または別地区に更新する

単価を更新したい既存設計書を開き、単価一覧をクリックします。

このスクリーンショットは、ソフトウェアの「直接工事費」画面を示しています。左側のメニューで「単価一覧」が赤い枠で囲われ、吹き出しで「クリックします」と指示されています。右側のメイン画面には、工事費の内訳一覧が表示されています。

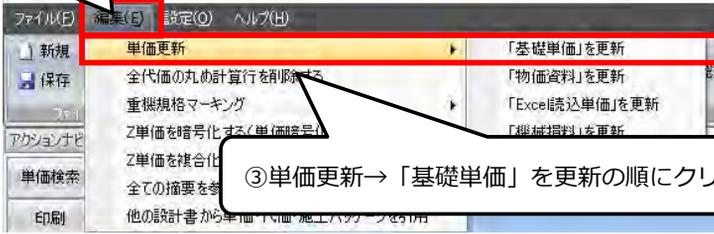
行番	種別	名称	規格
1		開削工事及び小口径推進工事	
2	内	・配水管布設工	
3	内	・土工事	
4	内	・路面復旧工	
5		・安全費	
		・交通誘導警備員B	実働8時間(交替要員なし)

単価一覧の画面に切り替わります。

このスクリーンショットは、「単価一覧」画面を示しています。左側のメニューで「単価一覧」が選択されています。右側のメイン画面には、単価一覧の表が表示されています。

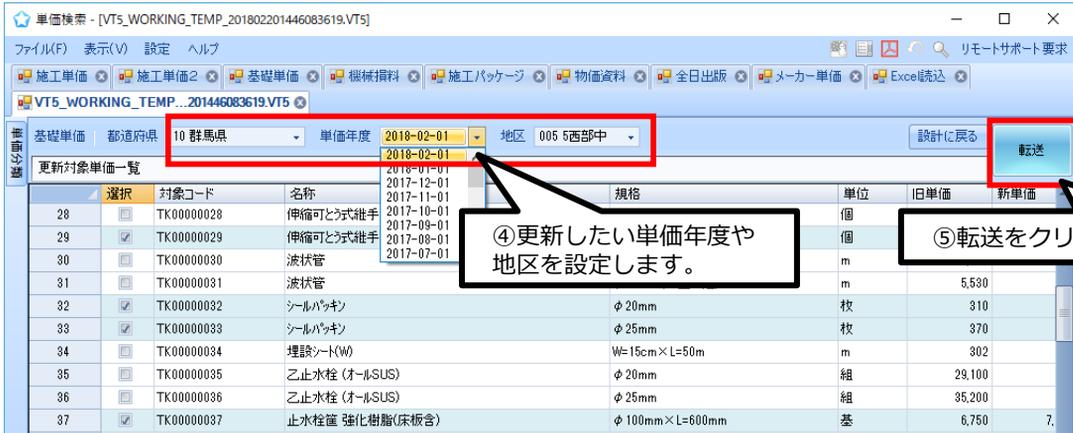
行番	名称	規格	単位	数量	単価
1	【労務費】				
2	交通誘導警備員B	実働8時間(交替要員なし)	人	220	11,800
3	土木一般世話役		人	1,129	23,800
4	普通作業員		人	1,324	20,900
5	特殊作業員		人	1,489	22,000
6	運転手(特殊)		人	0,488	22,500
7	【損料・賃料】				
8	コカートカク(H+ホーム式・湿式)	切削径20cm級 フレート径56cm	供用日	1,466	5,460

②編集をクリックします



更新単価一覧画面に切り替わります。

③単価更新→「基礎単価」を更新の順にクリックします。



④更新したい単価年度や地区を設定します。

⑤転送をクリックします

水色になっている行が更新対象となります。

白色の行は名称等が一致しなかったため、更新の対象外です。

行番	名称	規格	単位	数量	単価	金額
31	バックホウ運転費(クレーン機能付2.9t吊)	クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)	時間	9.225	7,003	6
32	バックホウ運転費(クレーン機能付2.9t吊)	クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)	時間	5.975	7,003	4
33	フック(上水弁) 砲金製	φ20mm×φ13mm シールパッキ1枚含	個	2	840	
34	フック(上水弁) 砲金製	φ25mm×φ13mm シールパッキ1枚含	個	1	1,990	
35	フック接合部品(GF) 7.5K SUS	φ75mm GFがスト.B/N含む	組	5	2,680	1
36	丸ボルト(ジュア)Eコート型	φ20mm×800mm シールパッキ1枚含	本	2	25,600	5
37	丸ボルト(ジュア)Eコート型	φ25mm×800mm シールパッキ1枚含	本	1	30,100	3
38	ボリドリ(ジュア)	φ75mm	m	399.713	304	12

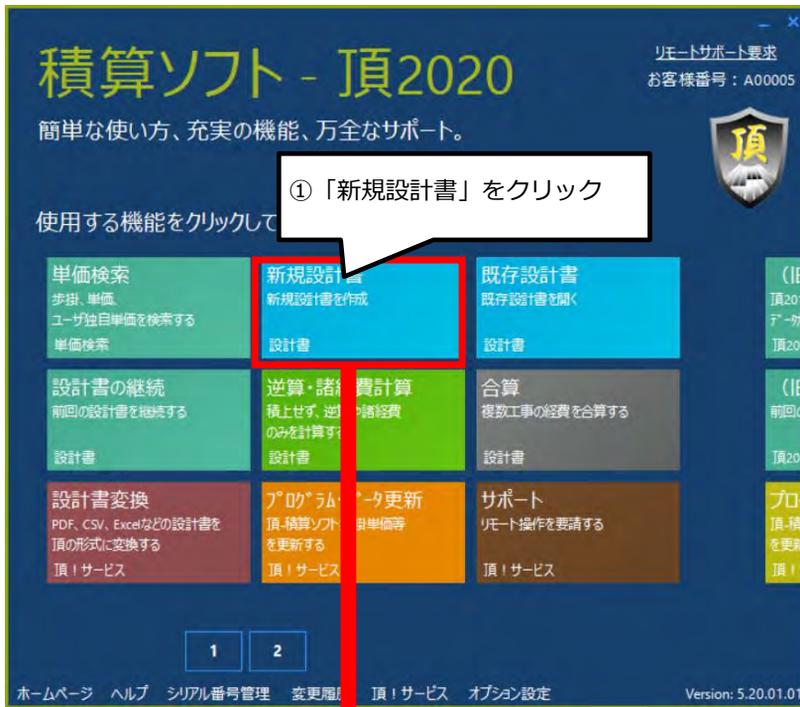
単価が更新されました！

青くなっている行が今回更新された単価です。

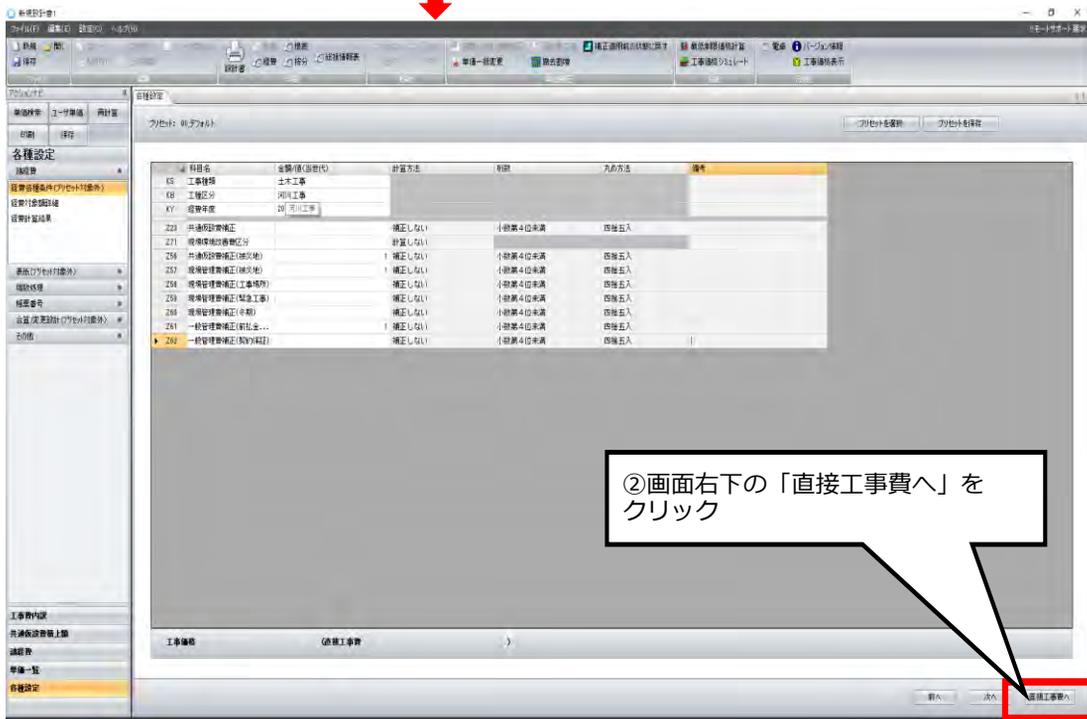
※注意※

- 更新の対象は、「労務単価」「材料単価」「市場単価」「処分費」です。「機械損料」は更新されません。機械損料の更新につきましては、メニューバーの「編集」をクリックし「単価更新」のプルダウンメニューから「機械損料を更新…」を選択し、更新してください。
- 単価が更新されるのは、単価の「名称」「規格」「単位」が頂の単価検索システム内のデータと一致する場合のみです。
- 一度更新した単価は元に戻すことはできません。
- Excel読み込み単価の更新を行う場合は、「編集」をクリックし「単価更新」のプルダウンメニューから「単価をExcel読み込み単価で更新」をクリックし転送で更新できます。
- 青いフラグを消すには、メニューバーの「編集」から「単価更新」のプルダウンメニューから「単価更新フラグをクリアする」を選択してください。

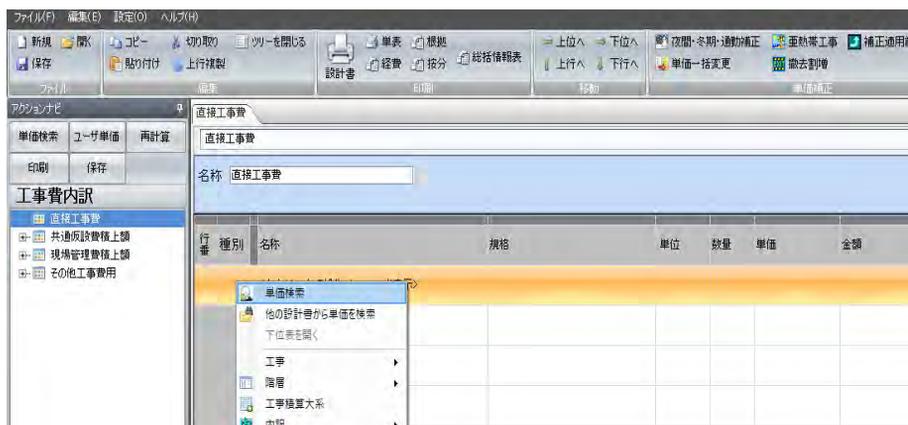
2.夜間・冬期・通勤・週休補正



経費各種条件画面に移動しました。



直接工事費画面に移動しました。
使用する施工パッケージを「単価検索」から転送します。



ここでは、例として基礎砕石を転送しました。



直接工事費 ▶ 基礎砕石

名称 基礎砕石 帳票番号 施工第1号 コード UINwtI-SAP033_1
 規格 7.5cm以下,再生クラッシュラン 40~0 条件変更 単位 m2

	代表機労材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正
▶ K	機械	-	5.31		
K1	パッドの賃料[加圧型・排対型(1~3次)](長期割...	日	5.28	8,800	
R	労務	-	83.56		
R1	普通作業員	人	43.7	18,400	
R2	特殊作業員	人	18.98	19,900	
R3	土木一般世話役	人	10.48	21,900	
R4	運転手(特殊)	人	9.82	19,900	
Z	材料	-	11.13		
Z1	再生骨材 再生砕石 RC-40	m3	8.62	2,650	
Z2	軽油 ノートル給油	L	2.5	109	

コマンドバーの「夜間・冬期・通勤補正」をクリックし、設定画面を開きます。



夜間・冬期・通勤補正

夜間補正

適用する 補正率 + × 賃金比
 名称の末尾に追加する文字列 (夜間)

冬期補正

適用する 補正率 + %
 名称の末尾に追加する文字列 (冬期補正(補正率))

通勤補正

適用する 補正率 + %
 名称の末尾に追加する文字列 (通勤補正(補正率))

週休単価補正

適用する 補正率 労務費 4週6休
 機械賃料 4週7休
 4週8休以上

名称の末尾に追加する文字列 (4週8休以上単価補正)

下位表も再帰的に補正する
 補正前単価の有効桁数を維持する

- ① 適用する項目にチェックを入れます。
- ② 補正率を入力します。
 (例) 150%の場合は1.5と入力します。
- ③ 名称の末尾に追加する文字列は自由に変更できます。
- ④ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます。

規格 7.5cm以下再生クラックラン 40~0 条件変更 単位 m2

代表機材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正
K 機械	-	5.31		
K1 ハック材賃料[加型・排対型(1~3次)](長期割引) 山積0.8m3[平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R 労務	-	83.56		
R1 普通作業員(夜間)	人	43.7	22,950	
R2 特殊作業員(夜間)	人	18.98	26,700	
R3 土木一般世話役(夜間)	人	10.48	28,050	
R4 運転手(特殊)(夜間)	人	9.92	26,700	
Z 材料				
Z1 再生クラックラン 40~0mm			3,300	
Z2 軽油 H*10-1給油,2~4R		2.9	118	

普通作業員などの労務単価を冬期補正しました。
 補正された労務単価の名称の末尾に(夜間)と入りました。

2-1.冬期補正（現場管理費の補正）の場合

積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合、寒冷地手当を支給する為に現場管理費を補正しています。

(1) 積雪寒冷地の施工期間

施工期間	適用地域	備考
11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上ある事
12月1日～3月31日	上記以外の地域	

(2) 工場製作工事及び冬期条件下で施工することが前提となっている除排雪工事等は適用しない。

(3) 補正の計算式

$$\text{積雪寒冷地域補正率 (\%)} = \boxed{\text{冬期率}} \times \boxed{\text{補正係数}} \rightarrow$$

↓

$$\text{冬期率} = \frac{\text{12月1日～3月31日(11月1日～3月31日)までの工事期間}}{\text{工期}}$$

積雪寒冷地域の区分	補正係数
1級地	1.8
2級地	1.6
3級地	1.4
4級地	1.2

(4) 補正の計算例

場所：4級地 → 補正係数 1.20
 工事期間：10月1日～3月31日 計123日
 冬期工事期間：12月1日～3月31日 計62日の場合

① まず、冬期率を算出します。

$$\text{冬期率} = \frac{\text{12月1日～1月31日までの工事期間}}{\text{工期}} = \frac{62 \text{ 日}}{123 \text{ 日}} = 0.504 \approx 0.50$$

② 積雪寒冷地域補正率を算出します。

$$\text{積雪寒冷地域補正率} = 0.50 (\text{冬期率}) \times 1.20 (\text{補正係数}) = \mathbf{0.60\%}$$
 となります。

※頂に入力する際には、計算結果を100で割った数字を入力してください。
 (ここでは0.6÷100=0.006になります。)



諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

経費計算結果

①諸経費→諸経費各種条件の順にクリックします。

科目名	金額/値(当世代)
KS 工事種類	水道工事(水道実務必携基準)
KB 工種区分	開削工事及び小口径推進工事
経費年度	2020
共通仮設費補正	
Z27 共通仮設費補正(週休)	
Z71 現場環境改善費区分	
Z56 共通仮設費補正(被災地)	1
Z57 現場管理費補正(被災地)	1
Z58 現場管理費補正(工事場所)	
Z63 現場管理費補正(週休)	
Z59 現場管理費補正(緊急工事)	
Z60 現場管理費補正(冬期)	
Z144 現場管理費補正(真夏日)	
Z81 一般管理費補正(前払金支出割合)	1
Z82 一般管理費補正(契約保証)	

②空欄部分をクリックします

冬期補正

工期 日 ...

対象日数 日 ...

北海道: 11月1日~3月31日まで
 長野県冬期補正值 ->対象日数に入力(例: 604)
 それ以外: 12月1日~3月31日まで

補正係数

補正率=対象日数÷工期×補正係数

OK キャンセル



冬期補正

工期 日

対象日数 日

北海道: 11月1日~3月31日まで
 長野県冬期補正值 ->対象日数に (例: 604)
 それ以外: 12月1日~3月31日まで

補正係数

補正率=対象日数÷工期×補正係数

1.2

積雪寒冷地域の区分	補正係数
1級地	1.8
2級地	1.6
3級地	1.4
4級地	1.2

何級地かを設定します

科目名	金額/値 (当世代)
工事種類	水道工事(水道実務必携基準)
工種区分	開削工事及び小口径推進工事
経費年度	2020
共通仮設費補正	
共通仮設費補正(週休)	
現場環境改善費区分	
共通仮設費補正(被災地)	1
現場管理費補正(被災地)	
現場管理費補正(工事場所)	
現場管理費補正(週休)	
現場管理費補正(緊急工事)	
現場管理費補正(冬期)	0.012
現場管理費補正(真夏日)	
一般管理費補正(前払金支出割合)	1
一般管理費補正(契約保証)	

この場合、通常の現場管理費に1.2%加算されます

3.Excel読込単価

Excelの単価データを「単価検索」に取り込むことができます。

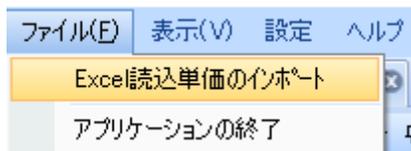
- ①指定のExcelファイルにデータを入力します。

1	大分類	中分類	小分類	名称	単位	金額	摘要	単価分類
2	タタイル管	K形	タタイル管 K形直管 3種	タタイル K形 直管3種	φ75×4,000	本	15,950	管材料
3				タタイル K形 直管3種	φ100×4,000	本	20,000	管材料
4				タタイル K形 直管3種	φ150×5,000	本	37,400	管材料
5				タタイル K形 直管3種	φ200×5,000	本	48,900	管材料
6				タタイル K形 直管3種	φ250×5,000	本	61,200	管材料
7				タタイル K形 直管3種	φ300×5,000	本	99,000	管材料
8				タタイル K形 直管3種	φ350×5,000	本	115,000	管材料
9				タタイル K形 直管3種	φ400×5,000	本	141,000	管材料
10			タタイル K形 三変十字管	タタイル K形 三変十字管	φ75×φ75	個	17,827	管材料
11				タタイル K形 三変十字管	φ100×φ100	個	24,262	管材料
12				タタイル K形 三変十字管	φ150×φ100	個	32,878	管材料
13				タタイル K形 三変十字管	φ150×φ150	個	37,819	管材料
14				タタイル K形 三変十字管	φ200×φ150	個	54,417	管材料
15				タタイル K形 三変十字管	φ200×φ200	個	58,048	管材料
16				タタイル K形 三変十字管	φ250×φ150	個	62,852	管材料
17				タタイル K形 三変十字管	φ250×φ250	個	79,107	管材料
18				タタイル K形 三変十字管	φ300×φ200	個	88,454	管材料
19				タタイル K形 三変十字管	φ300×φ300	個	120,288	管材料
20				タタイル K形 三変十字管	φ350×φ250	個	120,352	管材料
21				タタイル K形 三変十字管	φ350×φ350	個	151,200	管材料
22				タタイル K形 三変十字管	φ400×φ300	個	172,704	管材料

- ②弊社にてExcelファイルを「頂」登録用ファイルに変換します



- ②単価検索→ファイル→Excel読込単価のインポートよりUSPファイルを選択します。



- ④Excel読込単価として反映されます

コード	名称	規格
1	単 Z0101010001	タタイル K形 直管3種
2	単 Z0101010002	タタイル K形 直管3種
3	単 Z0101010003	タタイル K形 直管3種
4	単 Z0101010004	タタイル K形 直管3種
5	単 Z0101010005	タタイル K形 直管3種
6	単 Z0101010006	タタイル K形 直管3種
7	単 Z0101010007	タタイル K形 直管3種
8	単 Z0101010008	タタイル K形 直管3種

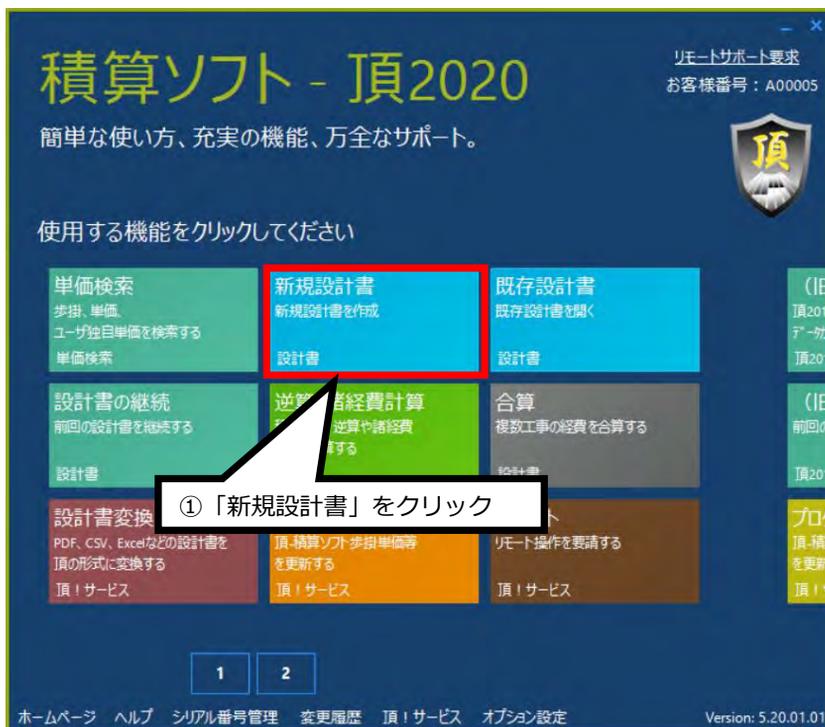
4. ユーザ単価

4-1 ユーザ単価の作成

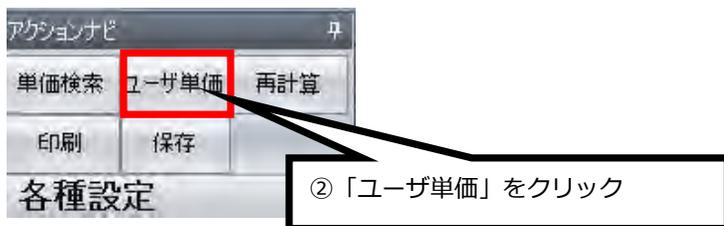
設計書の中には地域独自の歩掛がいくつか存在します。

独自の歩掛は「ユーザ単価」で一度作成すれば、次回から作成する手間が省けます

新規設計書を開きます。



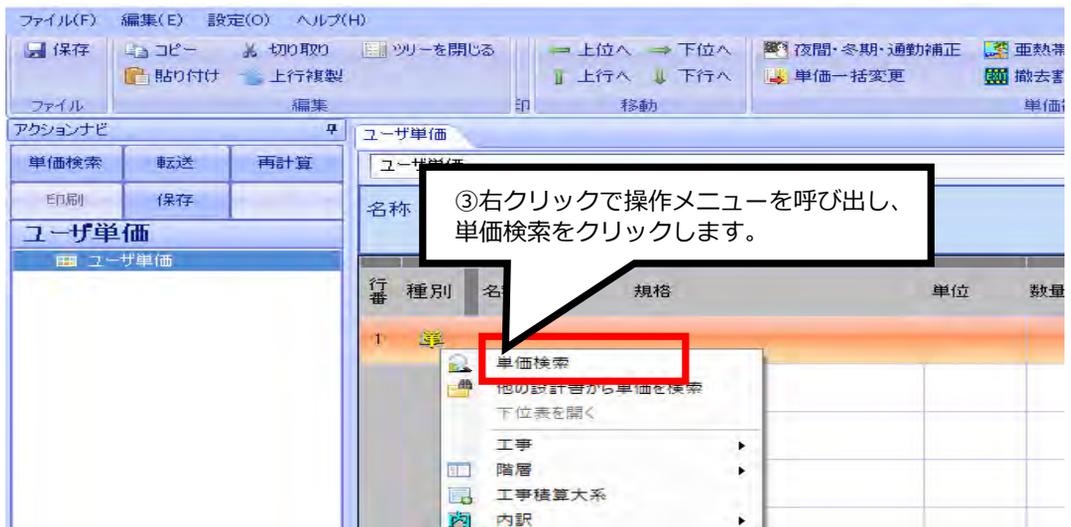
新規設計書画面が開いたら、ユーザ単価画面を開きます。



ここでは「管路埋戻 (洗砂)」をユーザ単価として作成し登録します。

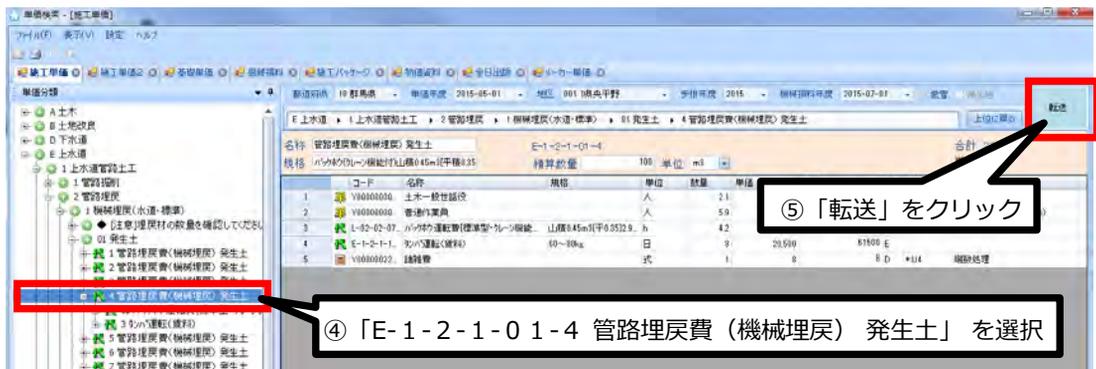
洗砂の使用が独自の部分です。

青色の画面 (ユーザ単価画面) に移動します。

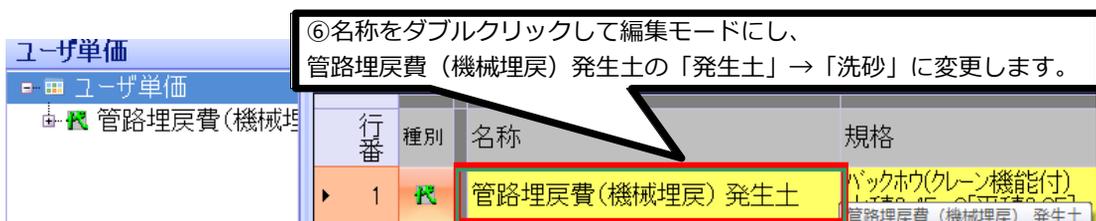


単価検索画面に移動します。

「E 上水道」 → 「E-1 上水道管路土工」 → 「E-1-2 管路埋戻」 → 「1 機械埋戻 (水道・標準)」 「E-1-2-1-0 1 発生土」 → 「E-1-2-1-0 1-4 管路埋戻費 (機械埋戻) 発生土」を選択し転送します。



ユーザー単価画面に戻ります



名称 ユーザ単価

⑦行番をダブルクリックし
下位表（代価表）の画面へ移動します。

行番	種別	規格	単位
1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付)山積0.45m3[平積0.35] m3

下位表（代価表）が表示されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量
1	単	土木一般世話役		人	2.1
2	単	普通作業員		人	5.9
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	山積0.45m3[平0.35]2.9t 吊	h	4.2
4	代	タンパ運転(賃料)	60~80kg	日	3
5		諸雑費		式	1

単価検索
内訳
代価
単価

⑧下位表に移動し、諸雑費の下の行で右クリックし単価検索をクリックします。

単価検索画面に移動しました。

単価検索から「洗砂」選択し転送します。

ファイル(F) 表示(V) 設定 ヘルプ

施工単価 施工単価2 基礎単価 機械損

単価分類

- A 労務単価
- D 土木施工単価
- P 県発表データ
- S 積算資料
- X 参考単価

都道府県

⑨「基礎単価」のタブをクリック 洗砂などの資材単価データは「基礎単価」として搭載されています。

基礎単価のタブ内から洗砂(粗目・細目)を選択し、転送します。



下位表（代価表）画面に移動しました。

諸雑費の下行に転送されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	単	土木一般世話役		人	2.1	21,800
2	単	普通作業員		人	5.9	17,300
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	山積0.45m3[平0.35]2.9t吊	h	4.2	7,045
4	代	タンパ運転(賃料)	60~80kg	日	3	20,500
5	式	諸雑費		式	1	61
▶ 6	単	石材	洗砂(荒目・細目)	m3	126	4,000



数量の入力を終え完成しました。左のユーザ単価をクリックし上の画面へ戻ります。



管路埋戻費（洗砂）の作成が完了しました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付)山積0.45m3[平積0.35]	m3	0	7,430

★ユーザ単価の保存

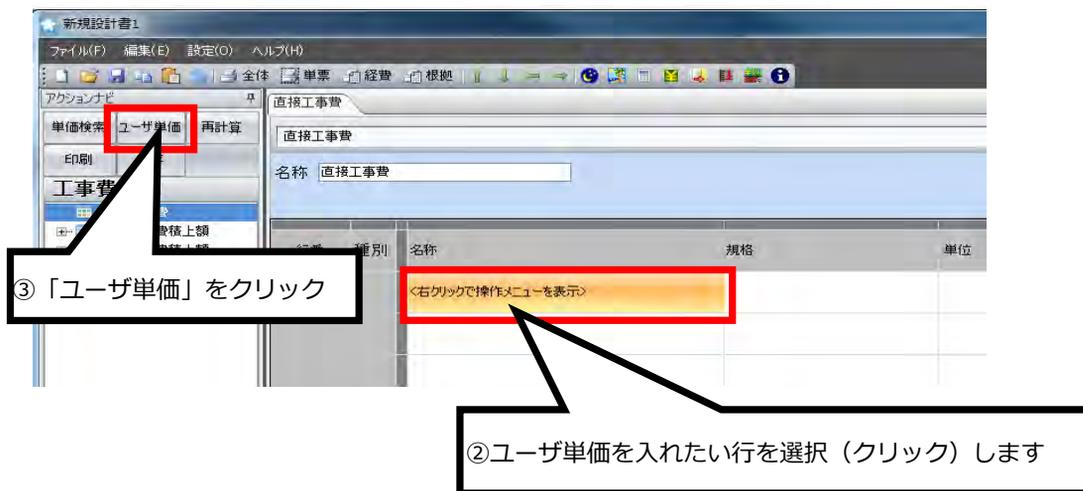
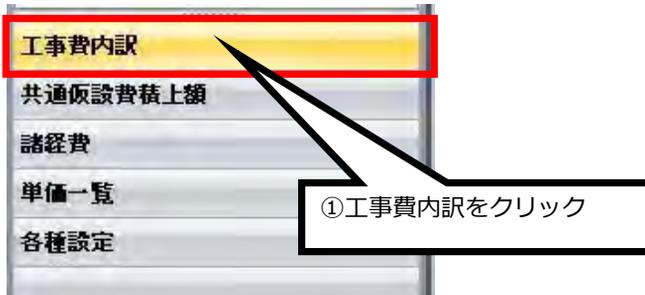
「保存」ボタンで作成したユーザ単価を保存できます。

⑬ 「保存」をクリック

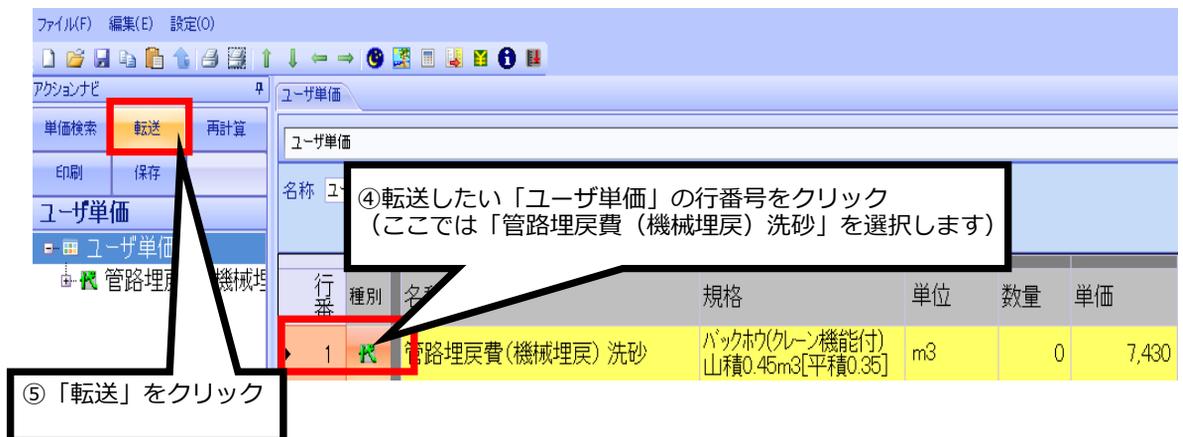
行番	種別	名称	規格	単位
1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付)山積0.45m3[平積0.35]	m3

4-2 ユーザ単価の転送

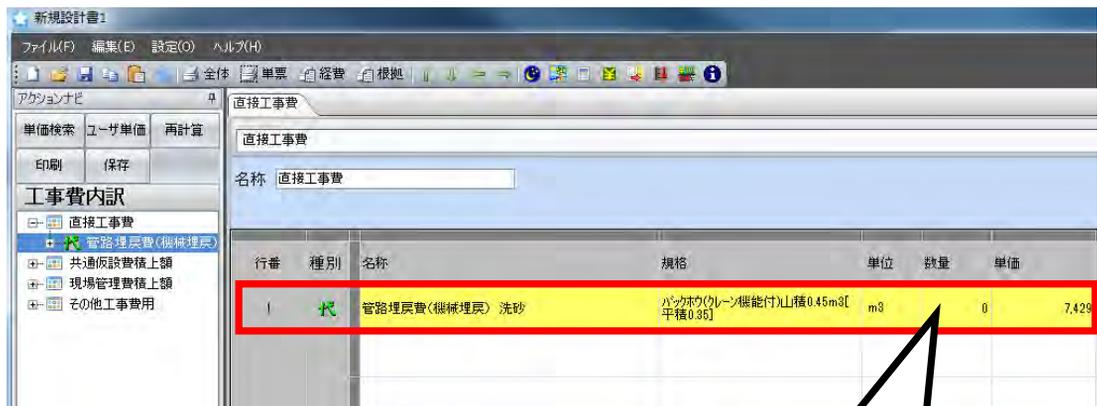
設計書画面から工事費内訳画面を開きます。



ユーザー単価画面が表示されます



設計書画面に戻り、ユーザ単価が転送されました。

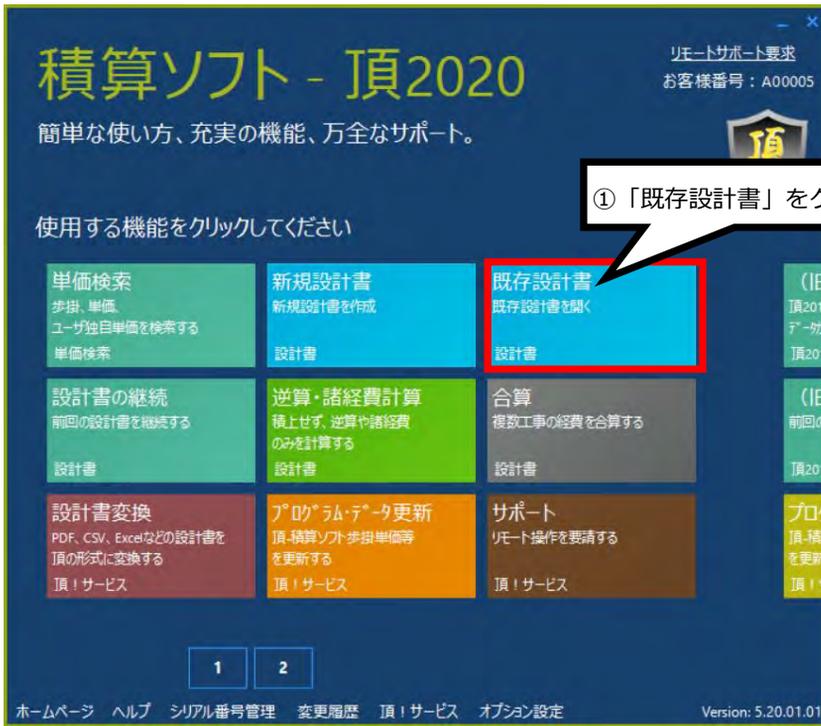


⑥数量を入力します

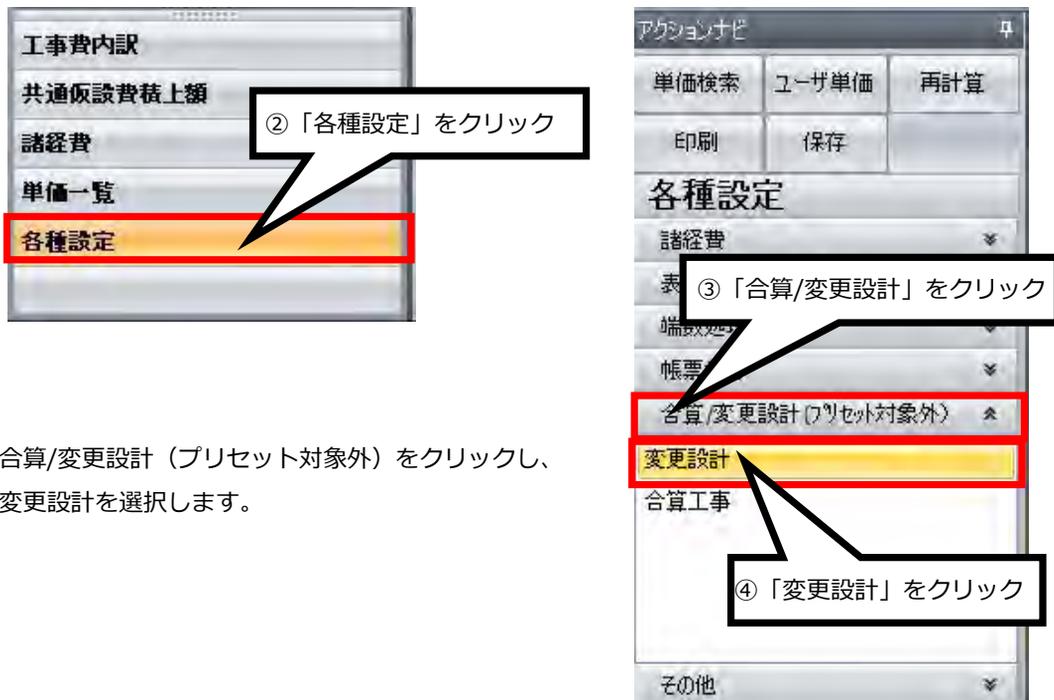
5. 変更設計について

5-1 変更設計書の作成

既存設計書から変更したい設計書を選択し開きます。

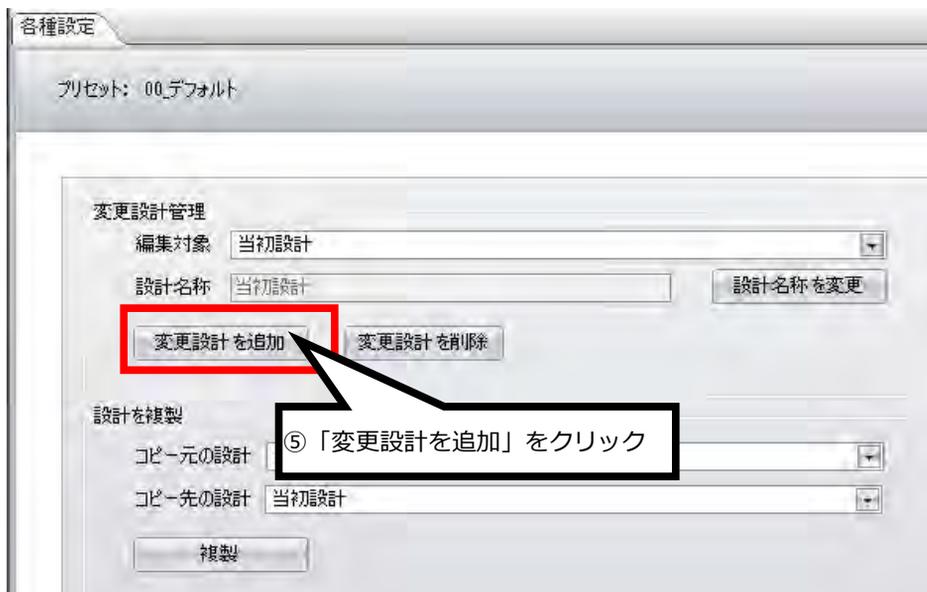


各種設定をクリックすると下記メニューが表示されます。

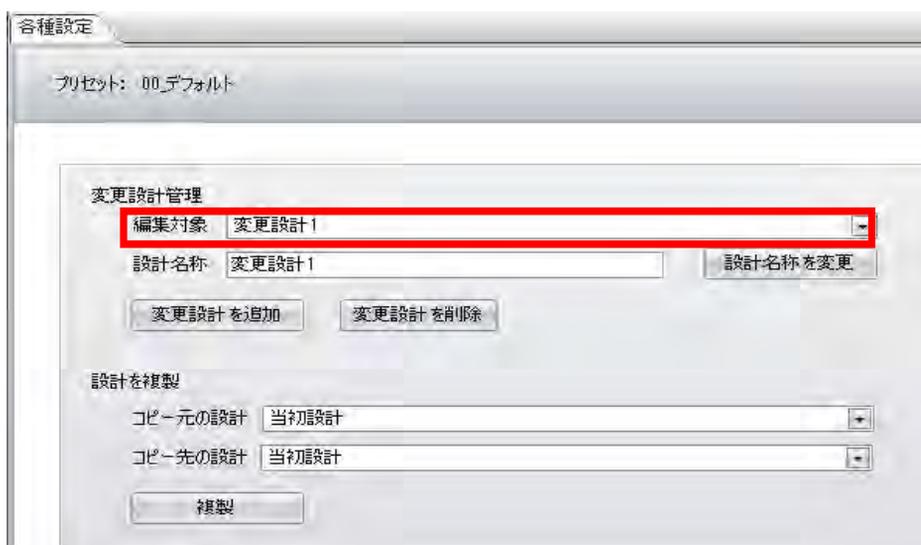


合算/変更設計（プリセット対象外）をクリックし、
変更設計を選択します。

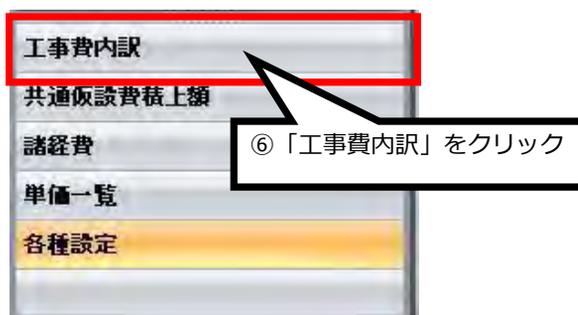
変更設計画面が開きました。



変更設計が追加され編集対象の欄が変更設計 1 に変わりました。



工事費内訳の画面に移動します。



変更前が表示された画面になります

種別	名称	規格	単位	変更前数量	変更前単価	変更前金額	数量	単価	金額	摘要
①	φ150mm布設工事		式	1		3,310,234	1		3,310,234	
内	・φ150mm材料費		式	1	1,109,141	1,109,141	1	1,109,141	1,109,141	
内	・φ150mm土工		式	1	190,167	190,167	1	190,167	190,167	
内	・φ150mm管布設工		式	1	1,484,014	1,484,014	1	1,484,014	1,484,014	
内	・φ150mm弁類設置工		式	1	163,717	163,717	1	163,717	163,717	
内	・φ150mm仮設工		式	1	362,645	362,645	1	362,645	362,645	
②	・直接経費		式	1		550	1		550	
内	・排水費		式	1	550	550	1	550	550	

元設計と同じものがコピーされています

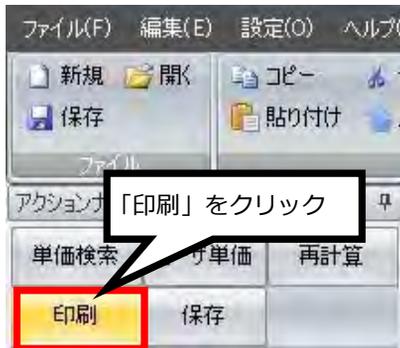
⑦ 数量など変更内容を入力します。
 代価や内訳の変更は必ず下位表を開いて、下位表（明細表）で修正してください。

数量や単価、金額の変更が発生した部分は数字が赤色に変わります。

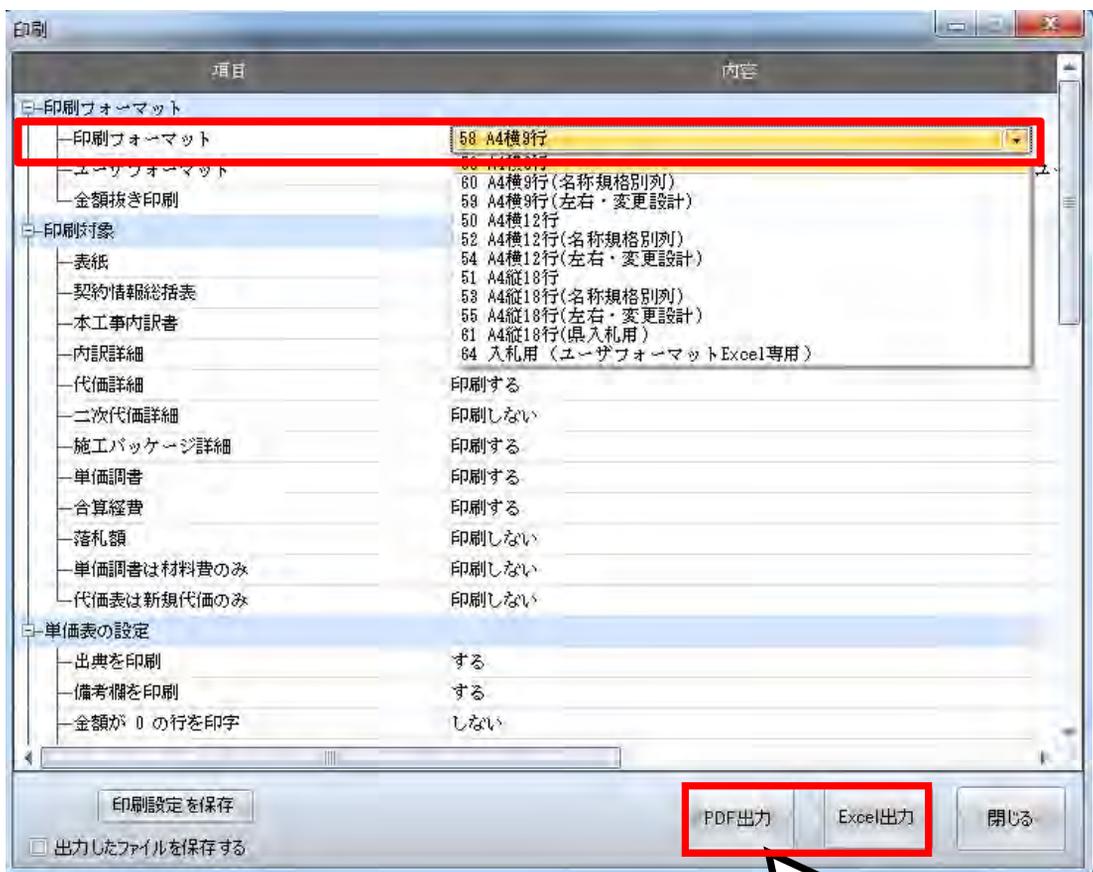
種別	名称	規格	単位	変更前数量	変更前単価	変更前金額	数量	単価	金額	摘要
①	φ150mm布設工事		式	1		3,310,234	1		4,484,634	
内	・φ150mm材料費		式	1	1,109,141	1,109,141	1	2,299,541	2,299,541	
内	・φ150mm土工		式	1	190,167	190,167	1	190,167	190,167	
内	・φ150mm管布設工		式	1	1,484,014	1,484,014	1	1,484,014	1,484,014	
内	・φ150mm弁類設置工		式	1	163,717	163,717	1	163,717	163,717	
内	・φ150mm仮設工		式	1	362,645	362,645	1	362,645	362,645	
②	・直接経費		式	1		550	1		550	
内	・排水費		式	1	550	550	1	550	550	

5-2 変更設計書の印刷

変更設計書を作成し、印刷ボタンをクリックします。



まず、初期設定（58A4 横9 行）の印刷フォーマットで印刷してみます。



「PDF 出力」または「Excel 出力」をクリック

印刷の初期設定では上下段表示になります。
 変更があった部分は上段が変更前、下段が変更後です。

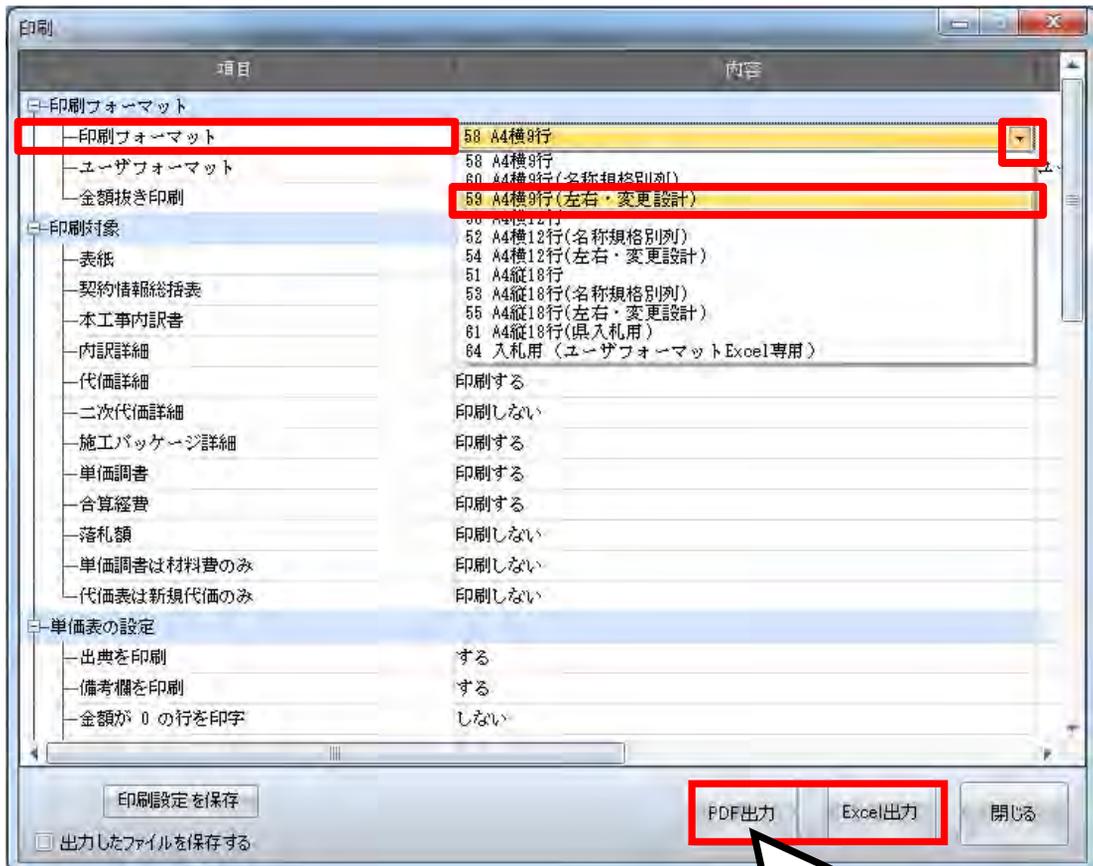
本工事費内訳書

頁0002

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
Φ150mm布設工事				(3,310,234)	
	1	式		4,494,634	(管:1891427/85:550) 管:3043823/85:59
Φ150mm材料費				(1,109,141)	内訳第1号
		式		2,293,541	(管:1109141) 管:2293541
Φ150mm土工	1	式		190,167	内訳第2号
Φ150mm管布設工					内訳第3号
	1	式		1,484,014	(管:752282) 管:752282
Φ150mm弁組設置工					内訳第4号
	1	式		163,717	
Φ150mm...					内訳第5号
				362,645	
直接				(変更前→ 3,310,234)	(管:1550) 85:550
				変更後→ 4,494,634	(管:3043823) 85:59
Φ100				(変更前→ 1,109,141)	内訳第6号
				変更後→ 2,293,541	(管:1109141) 管:2293541
					内訳第7号
				6,977,049	(管:4114827/85:550) 管:4114827/85:550

左右表示することも可能です。

印刷フォーマットで 59、または54、55（左右・変更設計）を選択すると左右表示されます。



「PDF 出力」または「Excel 出力」をクリック

左側に変更前、右側に変更後が表示されます。
金額が変更されている部分は赤字で表示されます。

本工事費内訳書 頁0002

費目・工種・種別・細目	単位	当初設計			変更設計			備考
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	
Φ150mm布設工事	式	1		3,310,234	1		4,494,634	(管:Φ1423/95:550) 管:3Φ1423/95:550
Φ150mm材料費	式	1		1,109,141	1		2,293,541	内訳:1号 (管:Φ9144) 管:2Φ9144
Φ150mm土工	式			190,167	1		190,167	内訳:2号
Φ150mm管布設工	式	1		1,484,014	1		1,484,014	内訳:3号 (管:Φ2292) 管:2Φ2292
Φ150mm枠設置工	式	1		163,717	1		163,717	内訳:4号
Φ150mm仮設工	式	1		362,645	1		362,645	内訳:5号
直接経費	式	1		550	1		550	(管:Φ50) 管:50
排水管	式	1		550	1		550	内訳:6号 (管:Φ50) 管:50
Φ100mm布設	式	1		6,977,049	1		6,977,049	(管:Φ114827/95:550) 管:1Φ114827/95:550

変更前
↓

変更後
↓

位	当初設計			変更設計			
	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
	1		3,310,234	1		4,494,634	(管:管:3
	1		1,109,141	1		2,293,541	内訳: (管:管:2

補足説明

(1) 左右表示で印刷する際、初期設定では列名が当初設計、変更設計となっていますが、自由に変更することができます。PDF、Excel 出力する前に、印刷設定の当世代（最新設計）の列名、前世代（一個前の設計）の列名を変更してください。

単価表の設定	
出典を印刷	する
備考欄を印刷	する
金額が 0 の行を印字	しない
金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する
帳票番号を印刷	する
「名称」の列名	
「規格」の列名	規 格
「名称・規格」（本工事費内訳書）の列名	費目・工種・種 目
「名称・規格」（内訳、代価表など）の列名	名 称 ・ 規 格 等
「備考」の列名	備 考
当世代（最新設計）の列名	変更設計
前世代（一個前の設計）の列名	当初設計
前世代の単価・数量・金額を印刷	する

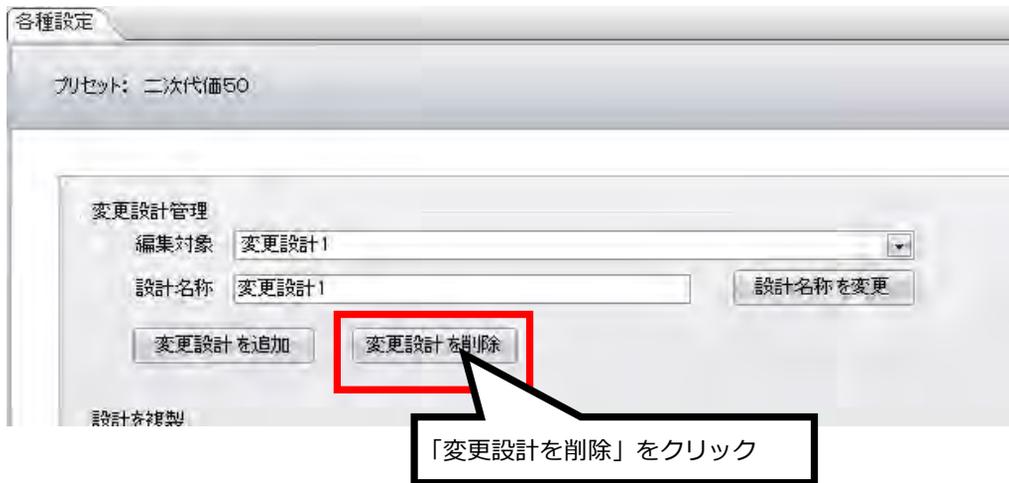
印刷設定内で列名を編集してください

当初設計			変更設計		
数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額
1		3,310,234	1		4,494,634
1		1,109,141	1		2,293,541

変更前			変更後		
数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額
1		3,310,234	1		4,494,634
1		1,109,141	1		2,293,541

列名が変更されます

(2) 各種設定の変更設計画面で「変更設計を削除」をクリックすると、変更設計が削除され当初設計書の状態に戻ります。



注意 変更設計に亜熱帯・夜間工事がある場合、【変更設計を削除】しても、当初設計書の状態には戻りません。

6.工事落札額

積算が終了し工事落札額が決定しましたら、「Z B 工事落札額」に落札額を入力します。

X	工事価格	6,490,000	自動計算
Y	消費税	519,200	自動計算
YR	__消費税率		
ZA	工事費計		
▶ ZB	工事落札額	6,000,000	固定値
ZE	請負比率		自動計算
ZC	落札額消費税		自動計算
ZD	工事請負額		自動計算

① 「Z B 工事落札額」に金額を入力します。
ここでは、6,000,000 と入力しました。



「Z E 請負比率」、「Z C 落札額消費税」、「Z D 工事請負額」が自動計算されます。

X	工事価格	6,490,000	自動計算
Y	消費税	519,200	自動計算
YR	__消費税率	8%	自動計算
ZA	工事費計	7,009,200	自動計算
▶ ZB	工事落札額	6,000,000	固定値
ZE	請負比率	92.4499%	自動計算
ZC	落札額消費税	480,000	自動計算
ZD	工事請負額	6,480,000	自動計算

6-1 設計変更後の工事落札額を計算

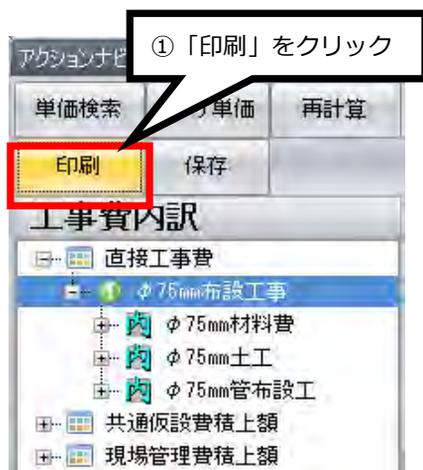
当初の設計書に工事落札額を入力します。（先ほどと同じように6,000,000を入力します）続いて変更設計書を作成します。（変更設計書の作成方法はマニュアル96ページ参照）

	科目名	金額/値 (前世代)	金額/値 (当世代)
X	工事価格	6,490,000	8,110,000
Y	消費税	519,200	648,800
YR	__消費税率	8%	8%
ZA	工事費計	7,009,200	8,758,800
▶ ZB	工事落札額	6,000,000	7,497,686
ZE	請負比率	92.4499%	92.4499%
ZC	落札額消費税	480,000	599,814
ZD	工事請負額	6,480,000	8,097,500

材料数量を変更し工事価格が1,620,000円増額され8,110,000に変わりました。「ZE 請負比率」は当初設計のまま、変更後の工事落札額が計算されます。

6-2 設計変更後の工事落札額の印刷

画面左の「印刷」、または画面上部のアイコンをクリックすると印刷設定画面へ移動します。



印刷対象

表紙	工事設計書 (積算者情報付)
契約情報総括表	印刷する
本工事内訳書	印刷する
内訳詳細	印刷

③印刷対象の契約情報総括表を「印刷する」に設定すると契約情報総括表が印刷され、工事落札額や請負比率が表示されます。

契約情報総括表

		当初	第1回変更(増・減)	第2回変更(増・減)	第3回変更(増・減)
積算段階	A 積算工事価格	6490000			
	B 消費税相当額	519200			
	C 積算額	7009200			
契約段階	D 工事価格	6000000			
	E 消費税相当額	480000			
	F 契約額	6480000			
	G 増減				
請負比率	H 0.924499	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E
注)			D 1 算 出 = A1×H = 0.924499 × =	D 2 算 出 = A2×H = 0.924499 × =	D 3 算 出 = A3×H = 0.924499 × =

株式会社エージェンシーソフト

印刷対象

- 表紙
- 契約情報総括表
- 本工事内訳書
- 内訳詳細

工事設計書 (積算者情報付)

印刷する

印刷する

印刷する

②印刷対象の契約情報総括表を「印刷する」に設定すると契約情報総括表が印刷され、工事落札額や請負比率が表示されます。

契約情報総括表

		当初	第1回変更(増・減)	第2回変更(増・減)	第3回変更(増・減)		
積算段階	A 積算工事価格	6490000	8110000				
	B 消費税相当額	519200	648800				
	C 積算額	7009200	8758800				
契約段階	D 工事価格	6000000	7497686				
	E 消費税相当額	480000	599814				
	F 契約額	6480000	8097500				
	G 増減		1617500				
請負比率	0.924499	$B=A \times 0.08$ $C=A+B$ $D=A$ に対する応礼額 $E=D \times 0.08$ $F=D+E$	$B=A \times 0.08$ $C=A+B$ $D=A$ に対する応礼額 $E=D \times 0.08$ $F=D+E$	$B=A \times 0.08$ $C=A+B$ $D=A$ に対する応礼額 $E=D \times 0.08$ $F=D+E$	$B=A \times 0.08$ $C=A+B$ $D=A$ に対する応礼額 $E=D \times 0.08$ $F=D+E$		
注)		D 1 算出 $= A1 \times H$ $= 0.924499$ $\times 7497686$ $= 8097500$		D 2 算出 $= A2 \times H$ $= 0.924499$ \times $=$		D 3 算出 $= A3 \times H$ $= 0.924499$ \times $=$	
積算工事価格：落札率を乗じず、消費税等相当額を含まない額。 積算額：積算工事価格に消費税相当額を加算した額。 工事価格・応礼額、または積算工事価格に落札率を乗じた額で、消費税相当額を含まない。 契約額：工事価格に消費税等相当額を加算した額。							

株式会社エーエスシーソフト

7.合算

合算については、3つのパターンの計算ができます。

①同時合算（予算ありきの計算）

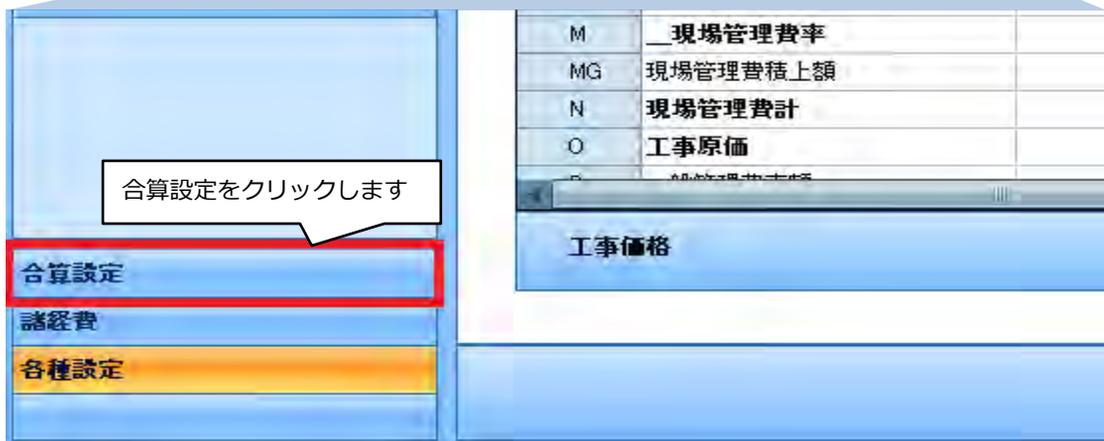
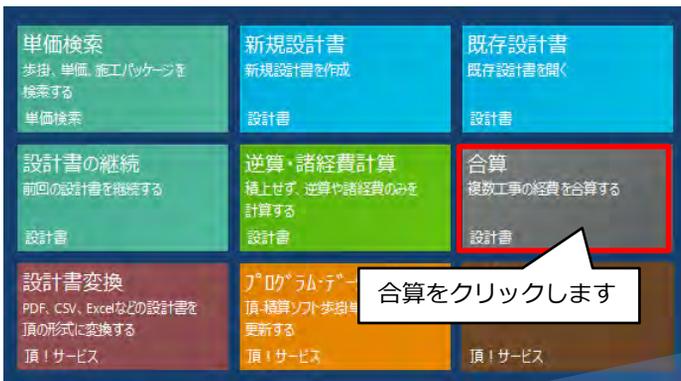
決められた予算で複数の工事をする場合、諸経費率は予算金額の率をそれぞれの工事に変更して計算

②追加合算（近くの工事を同業者が落札した場合）

A工事は満額で計算し、B工事はA工事+B工事で経費率を算出し、A工事分を引き算してB工事を算出

③点在合算

1キ口以上の近接工事を同業者が落札した場合、一般管理費のみを合算して計算



7-1.同時合算

経費合算

ファイル名	ファイルパス	対象設計	直接工事費	主要工事	経費を固定	差額調整
1235号線	C:\Users\user\Documents\VTIE.DAT\2020\1235号線.VT5	0:当初設計	974818	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1275号線	C:\Users\user\Documents\VTIE.DAT\2020\1275号線.VT5	0:当初設計	1093498	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1305号	C:\Users\user\Documents\VTIE.DAT\2020\1305号.VT5	0:当初設計	616570	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

全工事を加算後、再計算
 各工事の合計額

各工事で算出
 合算全体で算出

各種率額・金額
 一般管理費調整額

一般管理費以降のみ合算(点在工事)

建築・機械・電気の一括発注
 長野県建設部点在工事

編集対象: 第1回計算

- ①「工事を追加」を選択し、合算に利用する設計書ファイルを選択します
- ②主要工事を決定します。通常、直接工事費が最も大きい設計書を選択します
- ③差額調整を選択します※
- ④OKを押して画面を閉じます

※合算価格上で調整を行う場合、チェックを外します
各設計書で調整を行う場合、チェックを入れます。

価格の調整は「各種率額・金額」か「一般管理費調整額」で行われます。

7-2.追加合算

経費合算 ×

ファイル名	ファイルパス	対象設計	直接工事費	主要工事	経費を固定	差額調整
1235号線	C:\Users\user\Documents\VITIE.DAT\2020\1235号線.VT5	0:当初設計	974818	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1275号線	C:\Users\user\Documents\VITIE.DAT\2020\1275号線.VT5	0:当初設計	1093498	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1305号	C:\Users\user\Documents\VITIE.DAT\2020\1305号.VT5	0:当初設計	616570	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

工事を追加 工事を削除

処分費の超過額

全工事を加算後、再計算 各工事の合計額

落札額の算出方法

各工事で算出 合算全体で算出

差額の調整方法

各種率額・金額 一般管理費調整額

計算方法

一般管理費以降のみ合算(点在工事)

その他の計算方法

建築・機械・電気の一括発注

長野県建設部点在工事

変更

編集対象: 第1回計算

変更を追加 削除

OK キャンセル

各設計書の「経費を固定」をチェックすることで、合算時に経費額・率が変動しないようになります。

既に経費が確定されている設計書の経費を固定することで追加の合算として計算できます。

5-3.詳細設定

工事を追加 工事を削除

① 処分費の超過額

全工事を加算後、再計算 各工事の合計額

② 落札額の算出方法

各工事で算出 合算全体で算出

③ 差額の調整方法

各種率額・金額 一般管理費調整額

④ 計算方法

一般管理費以降のみ合算(点在工事)

① 処分費の超過額

処分費の計算を合後に行うか、各々の設計書で算出するかを選択します（一部地域）

② 落札額の算出方法

各工事が合算全体かを選択します

③ 差額の調整方法

各種率額か一般管理費調整額化を選択します

④ 計算方法

点在工事の場合、チェックを入れます

7-4.変更設計の合算

当初の合算を行います

経費合算

ファイル名	ファイルパス	対象設計	直接工事費	主要工事	経費を固定	差額調整
1235号線	C:\Users\User\Documents\VTIE.DAT\2020\1235号線.VT5	0当初設計	974818	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1275号線	C:\Users\User\Documents\VTIE.DAT\2020\1275号線.VT5	0当初設計	1093498	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1305号	C:\Users\User\Documents\VTIE.DAT\2020\1305号.VT5	0当初設計	616570	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

処分費の超過額
 全工事を加算後、再計算
 各工事の合計額

落札額の算出方法
 各工事で算出
 合算全体で算出

差額の調整方法
 各種率額・金額
 一般管理費調整額

計算方法
 一般管理費以降のみ合算(点在工事)

その他の計算方法
 建築・機械・電気の一括発注
 長野県建設部点在工事

変更
 編集対象: 第1回計算

「第2回計算」を追加します

経費合算

ファイル名	ファイルパス	対象設計	直接工事費	主要工事	経費を固定	差額調整
1235号線	C:\Users\User\Documents\VTIE.DAT\2020\1235号線.VT5	0当初設計	974818	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1275号線	C:\Users\User\Documents\VTIE.DAT\2020\1275号線.VT5	0当初設計	1093498	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1305号	C:\Users\User\Documents\VTIE.DAT\2020\1305号.VT5	0当初設計	616570	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

処分費の超過額
 全工事を加算後、再計算
 各工事の合計額

落札額の算出方法
 各工事で算出
 合算全体で算出

差額の調整方法
 各種率額・金額
 一般管理費調整額

計算方法
 一般管理費以降のみ合算(点在工事)

その他の計算方法
 建築・機械・電気の一括発注
 長野県建設部点在工事

変更
 編集対象: 第1回計算

変更追加ダイアログ
 編集対象: 第2回計算

変更後の合算を行います

ファイル名	ファイルパス	対象設計	直接工事費	主要工事	経費を固定	差額調整
1235号線	C:\Users\user\Documents\VTIE.DAT\2020\1235号線.VT5	0:当初設計	974818	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1275号線	C:\Users\user\Documents\VTIE.DAT\2020\1275号線.VT5	1:変更設計1	1293498	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1305号	C:\Users\user\Documents\VTIE.DAT\2020\1305号.VT5	0:当初設計	616570	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

①設計書の工事価格に変更があった場合、設計書の「対象設計」を変更設計に設定します

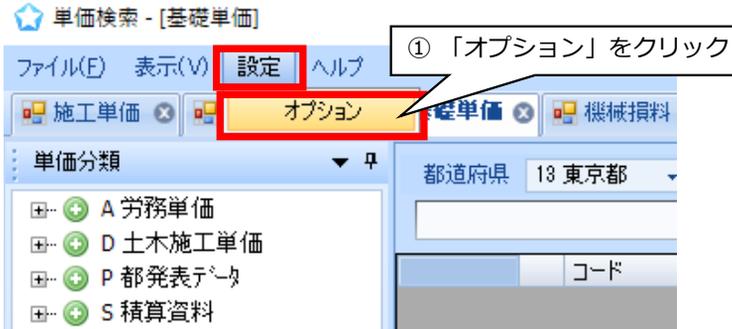
②第1回計算の時点で工事価格が確定されている場合は「経費を固定」にチェックします

全ての設定が完了後、「OK」を選択します

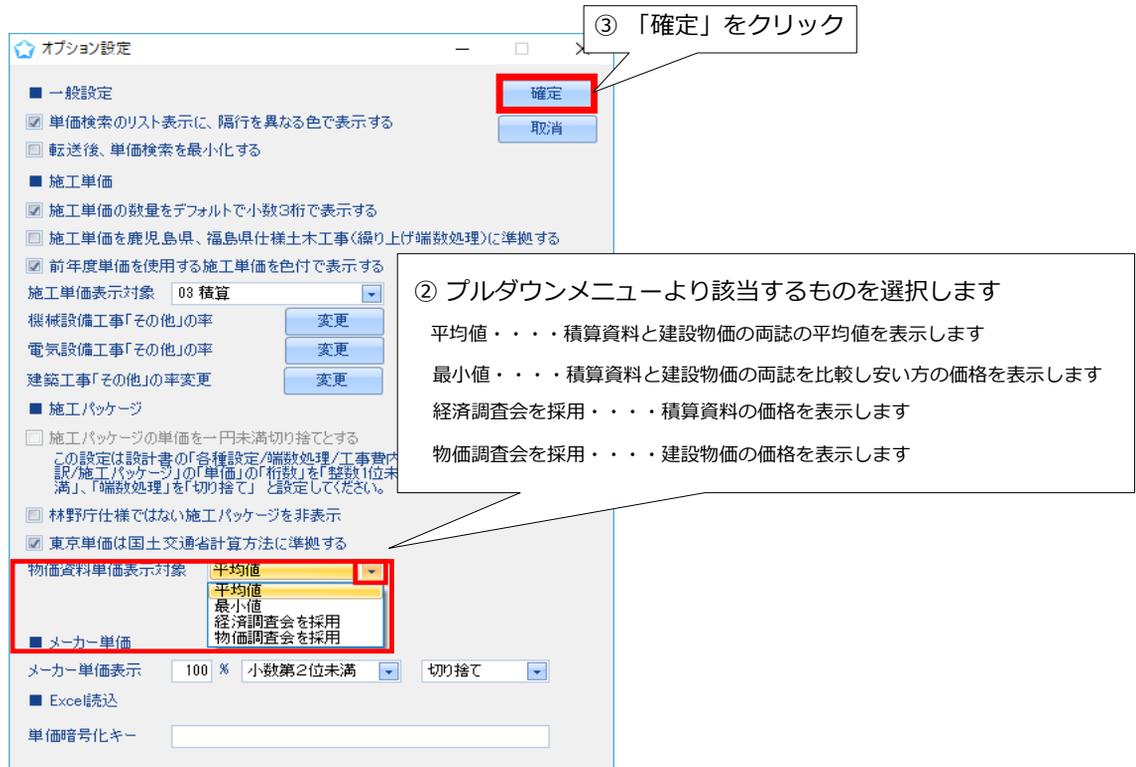
8. 「物価資料」単価表示対象の設定

単価検索の「物価資料」のタブ内で表示される単価の採用方法を設定できます。

単価検索の設定メニューより、オプション設定画面を開きます。



オプション設定画面が開きました。



設定が完了しました。単価検索の「物価資料」のタブ内で確認してください。

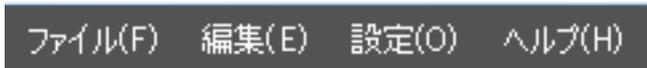
<単価検索上（物価資料タブ内）の表示>

	コード	名称	規格	単位	単価 ①	物調 ②	経調 ③	備考 ④
1	B0501012210_214	異形棒鋼 SD295A	D10	t	61,500	62,000	61,000	経調建2016年11月19頁62000円 積2016年11...
2	B0501012210_314	異形棒鋼 SD295A	D10	t	61,000	0	61,000	経調建2016年11月0頁0円 積2016年11月18...
3	B0501012210_314	異形棒鋼 SD295A	D10	t	61,000	62,000	61,000	経調建2016年11月18頁62000円 積2016年11...

- ① 単価・・・オプション設定で設定した表示方法で表示されます。（ここでは平均値）
- ② 物調・・・「物価調査会」の略です。建設物価の価格が表示されます。
- ③ 経調・・・「経済調査会」の略です。積算資料の価格が表示されます。
- ④ 備考・・・両誌のそれぞれ何ページに掲載されているかを表示しています。

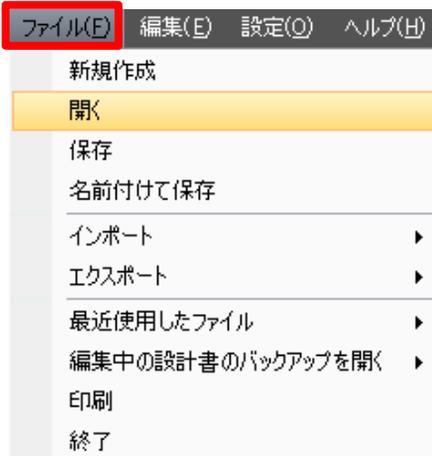
9-1-1 ツールバーの説明

ツールバーには「ファイル」「編集」「設定」「ヘルプ」の4つのメニューがあります。



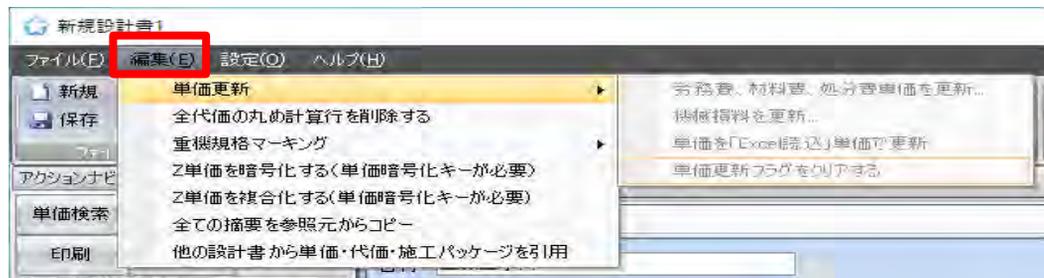
★ ファイルのメニュー

このメニューから保存やCSV ファイルの取り込みができます。



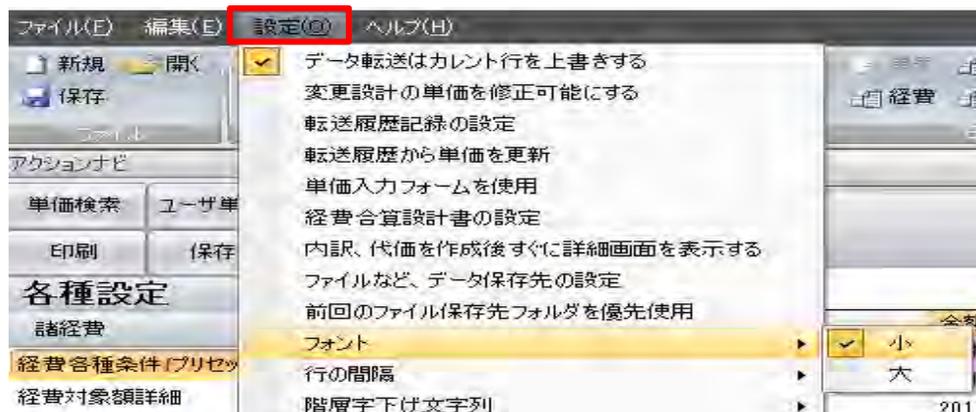
★ 編集のメニュー

単価更新から労務費や機械損料などを更新できます。



★ 設定のメニュー

ファイルなどのデータ保存先の設定変更や、文字のサイズを変更することができます。



★ ヘルプのメニュー

頂のホームページへ移動します。

The screenshot shows the Agencysoft website's support center. At the top, a dark navigation bar contains the menu items: ファイル(F), 編集(E), 設定(O), and ヘルプ(H). A red box highlights 'ヘルプ(H)', with a red arrow pointing down to the main content area. The main content area has a white background with a blue header. The header includes the Agencysoft logo, contact information (03-5283-9705), and a navigation menu with items: ホーム, 製品情報, 価格, よくあるご質問, お知らせ, and サポート. The 'サポート' item is highlighted in blue. Below the header, the main content is titled 'サポートセンター' and includes a sub-header '1. お問い合わせ窓口'. This section contains contact information for phone and email, a '無料体験版' (Free Trial) offer, a '今すぐ購入' (Buy Now) button, and a '積算ソフト頂のご注文' (Order Agencysoft) button. There is also a 'お知らせ' (Notice) section with a list of recent notices.

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

Agencysoft 「積算ソフト頂(いわたか)」開発元
エージェンシーソフト

03-5283-9705 (平日9:00-18:00) お問い合わせ

一般のお客様 官公庁のお客様 会社案内

ホーム 製品情報 価格 よくあるご質問 お知らせ サポート

ホーム > サポート

サポートセンター

どんなことでも、お気軽にお問い合わせください。

1. お問い合わせ窓口

2019年1月8日 [頂ユーザーの皆様へ](#)
[「お詫びとお謝り」プログラム・データ更新ができない事象について](#)

お電話でのお問い合わせ

03-5283-9707
受付時間：平日9:00～18:00

メールでのお問い合わせ

[「info@agencysoft.jp」](mailto:info@agencysoft.jp)宛のメール、またはお問い合わせフォームをご利用ください。

お問い合わせフォーム

2. よくある質問・お知らせ

- [「よくある質問」を見る](#)
- [「お知らせ」を見る](#)

無料体験版
14日間、気軽にお試しください。サポートあり。
無料体験版のご請求

今すぐ購入
分割払い可能。お得なプランあり。
積算ソフト頂のご注文

積算セミナー
各地域の自治体や工事組合・工事協会様と協力して実施中

- 「水道工事」積算セミナー【CP03ユニット】
- 「機械設備工事」積算セミナー【CP03ユニット】

お知らせ ▶ [お知らせ一覧](#)

2019年4月22日
お知らせ
[2019年ゴールデンウィーク休業期間のお知らせ](#)

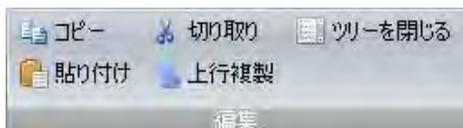
2019年2月22日
お知らせ

9-1-2 コマンドバーの説明

コマンドバーの主な機能をご説明します。



・編集



コピー：切り取り：

ツリーを閉じる：

貼り付け：

上行複製：現在選択している行のすぐ上の行を複製します。内訳や代価の場合は下位表（明細）も含めて複製します。

・印刷



設計書：設計書全体を印刷します。

単表：選択した内訳表や代価表を印刷します。

経費：諸経費を印刷します。

根拠：諸経費根拠表を印刷します。

按分：按分した設計書を印刷します

総括情報表：落札額や請負比率を印刷します。

・移動



行の移動：設計書内の現在選択している行を上下行と入れ替えることができます。例えば4行目に追加した項目を2行目に移動する場合は、移動したい4行目をクリックして選択された状態(オレンジ色になります)にしてから上向き矢印を2度クリックすると2行上がって2行目へ移動します。

位の移動:左右の矢印は階層の移動に使います。例えば③階層目の下に新たに階層を作ると、1階層下がって④階層として作成されます。これを上の階層と同じ深さの③階層に変更したい場合などに、④階層目をクリックして選択状態にしてから左向き矢印を1度クリックすると、1段階左に移動して3階層になります。階層の移動はどの時点でも可能です。また、移動する階層の下位にある階層も一緒に移動します。

・その他



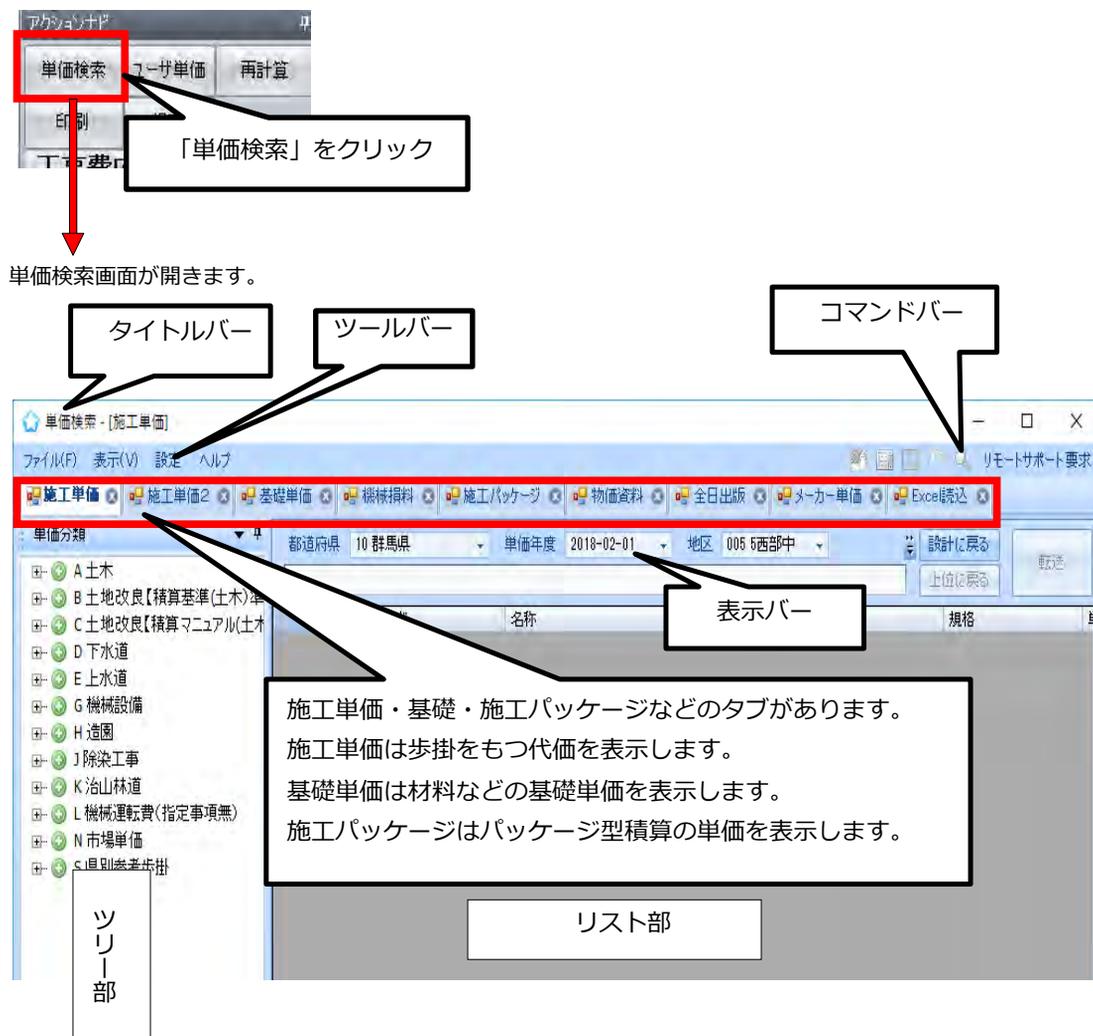
電卓：画面上に計算機が表示され、机上に電卓がなくてもパソコン上で計算することができます
(ただし関数電卓には対応していません)

バージョン情報：頂のバージョンを確認できます。

工事価格表示：工事費内訳や共通仮設費積上の画面上で工事価格を確認できます。

9-2 単価検索画面の機能

単価検索画面を開きます。



- (1) タイトルバーには「単価検索-[施工単価]」と表示されます。
- (2) ツールバーには作業を補助するメニューが用意されています。
- (3) コマンドバーには4つの作業メニューとリモートサポート要求が用意されています。
- (4) 表示バーには「都道府県名」「単価年度」「地区」「歩掛年度」「豪雪補正」「被災地補正」が表示されます。
地区リストはヘルプから閲覧できます。正しく積算するためにはこれらを正しく設定していただく必要があります。
- (5) 「施工単価」は代価（標準歩掛）を、「基礎単価」は材料や労務単価などの下位表を持たない基礎単価をそれぞれ表示します。「施工パッケージ」は施工パッケージの単価を表示します。
- (6) リスト部はツリー部で選択した代価や単価を表示します。

9-2-1 クリップ機能

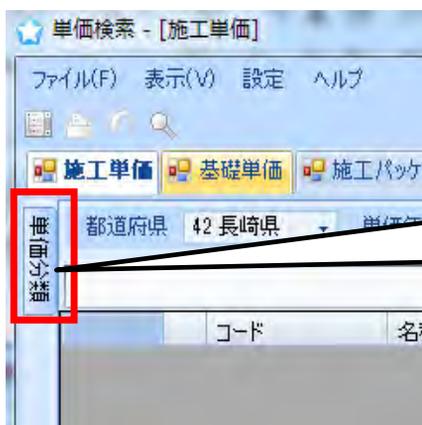
ツリーの表示を固定（表示）、非表示にすることができます。

📌 ピンを挿している状態 → ツリーが固定される

📌 ピンを倒した状態 → ツリーが非表示



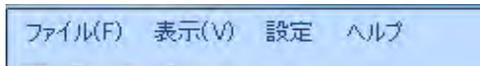
クリックでピンを挿したり、倒したりできます。
ピンを倒すとツリーが非表示になります。



単価分類をクリックするとツリーが表示されます。
ピンが倒れているのでピンをクリックしてピンを挿して固定します。

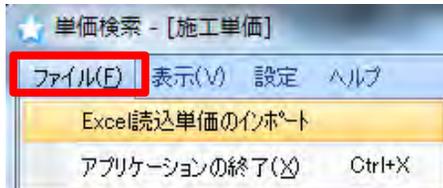
9-2-2 ツールバーの説明

ツールバーには「ファイル」「表示」「設定」「ヘルプ」の4つのメニューがあります。



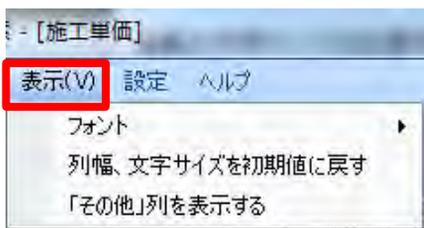
★ ファイルのメニュー

Excel 読込単価をインポートするときに使います。



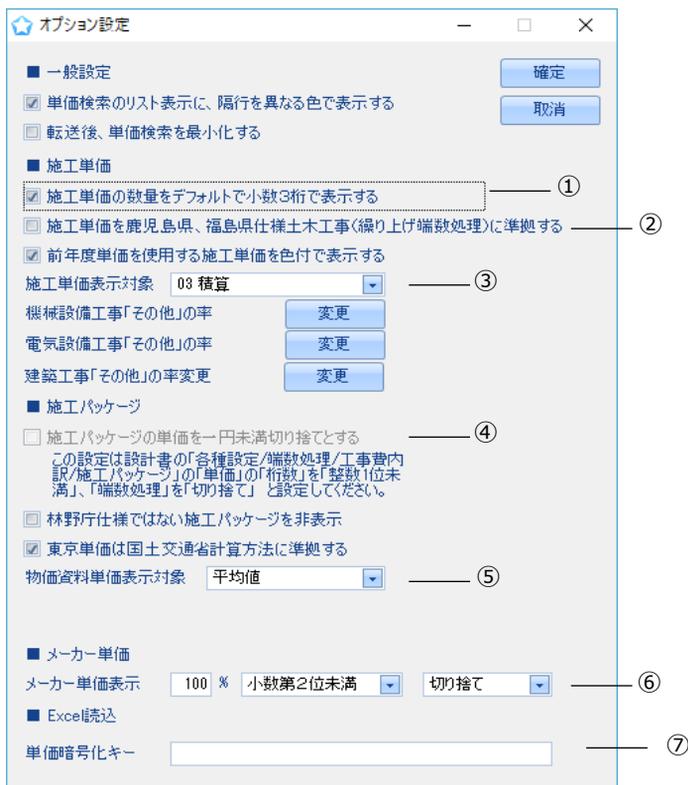
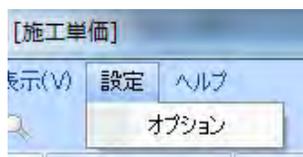
★ 表示のメニュー

文字サイズの「大」と「小」が選択できます。列幅や文字サイズを初期値に戻します。リスト部に「その他」列を表示させます。



★ 設定のメニュー

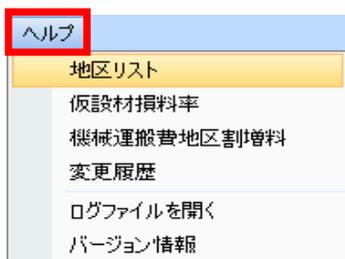
オプション設定が選択できます。



- ① 代価数量を3桁表示にします。(初期設定は2桁表示です)
- ② 鹿児島県、福島県のユーザ用の設定です。
- ③ 施工単価表示対象：「土木」「積算」「管工事」「公園工事」が選択できます。
(総合積算を契約しているお客様のみ選択可能です。)
- ④ 施工パッケージ単価を切り捨てにする設定です。
- ⑤ 「物価資料」の単価の表示方法の設定ができます。※詳しくはP120をご覧ください。
- ⑥ 単価検索のメーカー単価を自由に変更できます。
- ⑦ Excel で暗号化して作成した独自単価を表示させる際に必要なキーを入力する欄です。
(発注者用機能)

★ヘルプのメニュー

地区リストを開きます。工事場所の地区番号がわからない時に地区リストで確認できます。



9-2-3 コマンドバーの説明

コマンドバーの主な機能をご説明します。



夜間・通勤・冬期補正：夜間工事等の補正を行う際に使用します。

※詳しくは81ページ~を参照してください



全てのツリーを閉じる：

作業しているうちにツリー部分が長く展開して、目的のコードや工種が見つけにくくなる場合があります。

このアイコンをクリックするとすべてのツリーが閉じて最初の状態に戻ります。



印刷：代価表を印刷するときに使います(色がついていないときは印刷できません)



ジャンプ元に戻る：E上水道工事のツリー内に、水道実務必携に単価表及び端数調整の諸雑費行がない工種があります。その工種はツリー内の〇〇“には作成せず”70 歩掛(2)”にまとめてあります。ツリー内の〇〇でそのような工種を選択した場合、“70 歩掛(2)”の代価表を表示するジャンプ機能があります。

【例】 上水道工事で E-6-1 布設工・総経費行なし →★E-70-6-1

などの表現があるとき、ダブルクリックするとE-70-6-1 にジャンプして“70 歩掛(2)”にあるその代価表を表示します。そのときツリー部もE-70-6-1付近を表示します。当該代価表を張り付けた後、【ジャンプ元に戻る】をクリックすると、ツリー部の表示が元のE-6-1に戻ります。



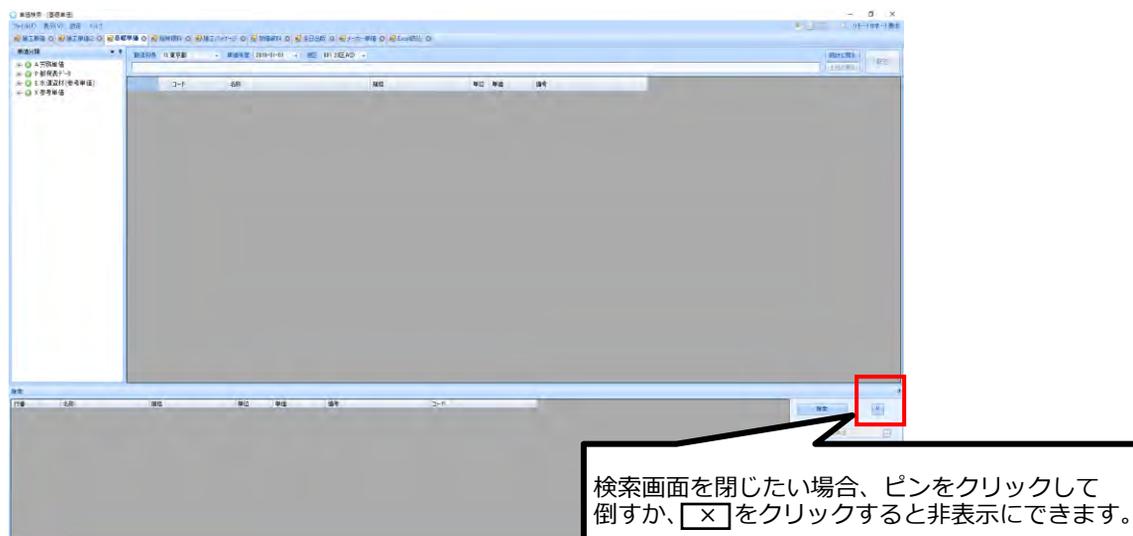
検索：ツリー部から目的の代価や単価が見つからない時に、工種名などから検索することができます。

アイコンをクリックすると単価検索システム画面の下に検索用画面が表示されます。

補足説明

- (1) 現在選択しているタブの中から検索をします。歩掛を検索する場合は「**施工単価 2**」のタブを選択してから検索をし、労務単価や材料などを検索する場合は「**基礎単価・物価資料**」のタブを選択してください。
- (2) 検索用画面にもクリップ機能がありますのでピンで検索用画面を固定表示にしておくことができます。

(3) スペースキーの活用。舗装「スペース」切断と入力すると文字が離れていても検索できます。
この例では舗装版切断も表示されます。



リモートサポート要求：単価検索画面からリモート操作を要請するときに使います。
※インターネット環境が必要です。

9-3-4 表示バーの説明

表示バーの主な機能をご説明します。

都道府県	22 静岡県	単価年度	2019-04-01	地区	012 富士212	歩掛年度	2019	機械損料年度	2018-07-01	<input type="checkbox"/> 豪雪 <input type="checkbox"/> 被災地	設計に戻る	転送
[検索欄]											上位に戻る	

都道府県ボックス：ご契約の都道府県が表示されています。

単価年度ボックス：労務費や資材などの基礎単価の年度を表示しています。スタートメニューの「データ更新」から更新をすると単価年度ボックスに更新された月が追加されます。

地区ボックス：生コンや碎石など都道府県で地区ごとに公表している単価があります。お使いの県で区分している地区に分類してありますので、当該工事の地区に合わせて選択してください。市町村名と地区との関係が不明の時は、ツールバーの「ヘルプ」→「**地区リスト**」の順でクリックします。表示されるエクセルシートの一覧表から確認してください。

歩掛年度ボックス：歩掛年度を表示しています。

機械損料年度ボックス：機械損料年度を表示しています。

豪雪補正ボックス：機械損料の豪雪補正を設定します。全県が豪雪補正地区に指定されている場合は初期設定でチェックが入っていますが、県内で豪雪地区に該当しない地区がある場合はチェックが入っていません。その場合は積算を開始する前にチェックを入れる必要があります

被災地補正ボックス：国土交通省の被災地の歩掛を使用する場合はチェックを入れて下さい。

上位に戻る：現在のツリーの位置からひとつ前のツリー画面に戻ります。

転送：単価検索のデータを設計書へ転送し貼り付けます。

補足説明

- (1) 歩掛は毎年変更されますが、いつの時点で新しい歩掛を採用するかは発注官庁によってまちまちです。新年度になって労務費や資材単価は新年度単価を採用しても、歩掛と機械損料はしばらく昨年度分を使用しているのが現状です。
- (2) 頂では機械損料は単価年度ではなく歩掛年度に連動しています。新年度になっても歩掛と機械損料は旧年度という場合は、歩掛年度を前年度、単価年度は新年度4月に設定すれば対応できます。